

令和2年度介護のしごと魅力発信等事業
「福祉・介護の体験型・参加型イベント実施事業」
についてのご提案経過報告書

株式会社サンケイビルテクノ

2021.4.28

1. **企画立案・実施概要について** (P4)
2. **事業の目的・ビジョン**
 - ・プロジェクトコンセプト (P13)
 - ・事業の目的 (P14)
3. **事業のKPI**
 - ・KPIのご報告 (P16)
 - ・大型イベント (P17)
 - ・体験イベント×番組 (P19)
 - ・WEB (P26)
 - ・PR/パブリシティ (P28)
 - ・有識者総括コメント (P35)
4. **事業の成果**
 - ・社会に対する成果の還元/今年度事業中に得られた成果 (P37)
 - ・社会に対する成果の還元/還元の範囲・対象・方法 (P38)
 - ・自立・自走に向けた取り組み (P39)
5. **アンケート**
 - ・アンケート回答者の属性について (P42)
 - ・動画・番組視聴による介護・福祉の仕事に対する意識改善効果 (P45)
 - ・動画・番組視聴後の介護・福祉の仕事に対するご意見・ご感想 (P62)
 - ・「かえる委員会」の取り組み介護・福祉のワークショップへの参加意識 (P78)
 - ・本施策で呼びかけたTwitter投稿について (P93)
6. **令和3年度へむけての考察** (P99)

企画立案・実施概要について

企画立案について（企画委員会／全体会議の実施）

■企画委員会の実施①（7月29日）要約

- ・超福祉展のスケジュール、内容等について
9月3日14時～15時半、15時～16時半にメインスペースを使用できる
保湿器具メーカーオカムラが持つヒカリエのスペースで中継を繋げる可能性もあり
内容については、主催者側である昨年のプロジェクト参加者の鳥羽くん、稲葉さんが企画の内容を説明する方向性
イベントに参加できる演者の選定
- ・ TOKYO GIRLS COLLECTIONのノベルティについて
- ・番組の収録スケジュールについて
演者それぞれの予定はあるが、主役である要潤さんのスケジュールを中心に動いていく
- ・介護、福祉＝高齢者介護をイベントに拘らず、人に拡散する方法を模索
- ・オンラインワークショップの実施方法、参加校の選定を模索
- ・ TOKYO GIRLS COLLECTION、超福祉展への出展のため、企画内容の考案と演者の稼働を調整
- ・テレビ番組「にっぽんの要」とオンラインワークショップは切り離して企画していくべき

■企画委員会の実施②（8月6日）要約

- ・オンラインワークショップに向けて松戸向陽高等学校の奥山校長とコンタクトを取る
- ・テレビ番組「にっぽんの要」とオンラインワークショップは切り離して企画していくべき
イメージはモニターがたくさん並んでいて、スタジオ観覧みたいにする
若者たちが理解して動く。理解に3回、行動するに1回にしたほうが良いのではないか
スタジオにいるのは、基本的に要さん、大慈弥さん、上条さんの3名
観覧者となる学生とスタジオとの接続方法は、ZOOMで行う（学生はインターネット環境が整っている方に絞る）
1本の中でわかる・かわるまで行くのは出来るはずだが、1本ごとの内容が薄くなることを懸念している
1話で完結する作りにはするべきではない
- ・ TOKYO GIRLS COLLECTIONの当日のリハーサルについて
- ・介護・福祉を学ぶ学生、興味のある方、若者の意識を「わかる」から「かわる」に変えていくイベント、番組にしていくべき（インプットからアウトプットへ）
- ・オンラインワークショップの内容は、お題を提示し、「かわる」ところまでの発表してもらうべき
- ・番組化、オンラインをフォーマット化することで、全国の教育現場や若者に向けて発信していくべき

企画立案について（企画委員会／全体会議の実施）

■企画委員会の実施③（8月21日）要約

- ・ イベント参加、番組制作、オンラインワークショップ等の企画の骨組み完成
- ・ 協力してもらえる企業団体が増えている
- ・ オンラインワークショップを別撮りにするかどうかは要検討
- ・ 番組全体の流れ
接点のある学生と接点のない学生を番組でとらえることによってわかる、かえるを作っていく
- ・ アンケートについて
超福祉展：何か方法を検討。9/3①・②、9/5の3回取得したい
TGC：お願い中。TGCからアンケートフォームに送客してもらう方向（イベントアプリ）
- ・ 9/5の中継について
Wi-fiではなく、LANケーブルで中継した方は良いのではないかと？
ステージ：16:44頃（前後15分ずれるかも）
- ・ 9/3にインフルエンサーが伺った内容をやり取りする
もし、ムービーが事前に撮れるのであれば安心、9/3に事前に撮っておきたい
- ・ 9/3について
プロジェクトの説明、プレゼン各20分×2名、ゲストへの振り（フリートーク）を想定
台本：どういう構成、切り口にするか準備が必要
※全体の流れを確認したい
鳥羽くん・稲葉さんもテレカンで日にちを見て説明する場を設ける
超福祉展のリハーサルはない
Lヒカリエのそばの会議室を押さえる（9/3）12:00～15:00（3h）

■企画委員会の実施④（8月25日）要約

- ・ 番組制作チームも含め、企画内容説明
- ・ 直近の9月3日と5日は、技術的に何をしてどう表現していくのかという課題について
- ・ 番組放送3回をどのようにしていくのか
- ・ ワークショップに参加する学校の取材方法について
- ・ 番組の収録場所はBSフジのマルチシアターが最有力
- ・ 番組、TGC、超福祉展、ワークショップにそれぞれの登場人物が多いため整理が必要
- ・ 超福祉展（3日）とTGC(5日)について
超福祉展は、独自に撮影するため繋がらない。
今回のTGCはランウェイを歩くことが中心ではなく、内容の話をすることが中心となる。石川恋さん、ティモンディさんの3日の体験などを話してもらうことの方が大事

企画立案について（企画委員会／全体会議の実施）

■企画委員会の実施⑤（9月14日）要約

- ・ 演者である上条さんに今回のプロジェクトの今後の展開説明
介護の人材が不足している要因について
暗い、汚い、苦しい（3K）の印象が付いてしまっている。そのイメージを払しょくする必要がある
上条さんにはアドバイザーという立ち位置からも協力してほしい
- ・ 上条さんからの意見

10年前は超高齢化になるということで悲しい気持ちになってしまっていた（生きててごめんね）が、ただ今は介護を受けることが当たり前という時代になっているため楽しく生きていこうというマインドに変わっている

今の若者はたくさんお金を稼ぎたいという意識は低く、やりがいを大切にする傾向がある
ただ、一方で介護系の専門学部に通っていながら介護の道に進まない人材もいる。それは、暗い大変というイメージがあったり、周囲に反対されてあきらめてしまう理由からだ。そこで講演会などで話をすると気持ちが変わる生徒が多い

介護にも様々な仕事があるが、現状ではある一部分しか紹介されておらず、点でしか捉えられていないため、介護全体を捉えるならドラマ化が一番が良い。確かにつらいし暗い部分もあるが、楽しいことも伝えられたらいいなと思う

■企画委員会の実施⑥（9月24日）要約

・番組の企画概要について

MC 要さんと上条さん・進行 大慈弥さん

5校の学校にお題を出して、変えるところまで行きつくこと

とはいっても、3回放送しかないため大きく取り上げるのは難しい

残りの学校は「かえる通信」等で、放送はしなかったが実はこんなことをやっていた程度の紹介となる

撮影場所：台場のマルチシアター（予定）

バックモニターに学生等を映し出す（5画面まで）

そのモニターに学生なり学校を映し出す

・課題

学生をどこまで掘り下げるか。どこまでフューチャーするのか。どこまで学生にフォーカスするのか

介護の業界での成功者にフォーカスするのもありなのではないか？ティモンディさんと石川恋さんをどう使うのか？

・番組の目的について

視聴者に気づきを与える

企画立案について（企画委員会／全体会議の実施）

■企画委員会の実施⑦（10月13日）要約

- ・オンラインワークショップを進める上での相談会をどのようなものにするか
1回目は11月20日or27日
↳向陽高校に鳥羽くん、稲葉さん、布施田さんが行く。その他の学校は、オンラインで繋ぐ
内容：こんなことを実施するというオリエン
- 2回目は12月14、17、18、21日に行う
↳発表意見交換。これはどうするのか？
ここは、すべてオンライン。上条さん参加予定
課題やテーマを洗い出す。それに対して動画を作ってもらう

■企画委員会の実施⑧（10月28日）要約

- ・番組について
ティモンディさんは、オンラインワークショップ参加校に向けての応援メッセージを11月20日に撮影予定
- ・オンラインワークショップ相談会は、事前に鳥羽くん、稲葉さんと打合せが必要
- ・番組で取り上げる予定の布施田さんへの取材とあおいけあさんへの取材を行ってきた旨の報告を番組制作チームから受ける
- ・番組の内容は固まりつつあるが、演者のスケジュール調整が課題となる
- ・ワークショップについて
アイデアを出して変えていく
- ・TIPS動画について
1本あたり10分くらいの尺をイメージ
制作側で意見をいただきたい
↳セミナーでやっていいこと、やってはいけないことが出てこないと作りづらい。説明文の羅列になってしまって教習所の映像みたいなものになってしまう危険性あり
こんなことをやったから、みんなもやろうよという意味合いのハウツーの紹介動画が良い

企画立案について（企画委員会／全体会議の実施）

■企画委員会の実施⑨（12月17日）要約

- ・厚労省様からの総評
- ↳ アンケート⇒学生の印象がどう変化したかを示す内容を吸い上げたい
- ↳ 介護人材の確保までを目指したい
- ・オンラインワークショップ現状
- ↳ 2学校相談会おわっており、進行中。12/21中間発表にむけて準備中
- ・収録について
- ↳ 24日のマルチシアターでの撮影には、各校の先生も立ち合いOK⇒21日に同時に案内。
- ↳ 要さんに布施田さんの靴を履いてもらう。※事前に事務所に確認をとること
- ↳ 台本チェック⇒12月21日、厚労省様にご確認頂く。
- ↳ 観覧11名の参加方法：リモート。⇒視聴後に意識調査アンケートの実施
- ↳ かえる通信のコーナー⇒長く尺を設けたほうが良いとのことで2～3分想定へ。
- ・放送時間：日付は2/7,14,28想定。
- ・参加4校への依頼：100数校への番組告知およびアンケート回答の呼びかけ。
- ・放送の告知、PRについて確認

■企画委員会の実施⑩（1月8日）要約

- ・番組について
- 13:30～1.5H__# 2 撮影/15:00～1.5H__# 3 撮影
- ゲストのあおいけあ加藤さん⇒音声跡切れなどの心配もあり、スタジオ収録に
- ⇒感染症対策を徹底した上で呼び出す方向に。控室としてBSフジさんに会議室を押さえて頂く。
- ↳ # 3 (※来週中には台本展開)__上条さんより資料あり。
- ↳ 鳥羽くん、稲葉さんに関しては、当日スケジュール不可⇒コメントのみもらう。
- ↳ 参加4校の作品鑑賞 # 2 # 3の「かえる委員会」コーナーにて放送 ※サイトアーカイブでも公開
- ↳ # 2 # 3 各回で1校ずつ掲載(フル尺)
- ・スタジオ入出の際など、改めて感染症対策の徹底を実施。
- ・各校への有識者コメントの割り当て
- ・広報取材について⇒番組の周知だけでなくアンケート集客に重きを置くような広報にしたい

企画立案について（企画委員会／全体会議の実施）

■企画委員会の実施⑪（1月22日）

- ・ TIPS動画について
 - ↳ 3月末迄に各所へ納品。奥山先生から120校へ周知頂く
 - ↳ 動画の役割：ワークショップ・イベントに人を増やすのが最大のミッション
 - 今回実施した番組全体、かえる委員会全体をアーカイブした映像を各校に配布
 - ⇒ 来年以降に参加する学生へのイメージ共有として
 - ↳ 学生への「教本」というよりは「こんなことが出来るんだ」「僕たちもやってみたい」という意欲を引き出す材料にしたい。
 - ↳ 鳥羽くん・稲葉さんのような、自分たちの少し先輩が生き生きとプロジェクトを進めている様子を見せる。
- ・ 確認事項
 - ↳ TIPS動画でのタレント使用可不可
 - ・ 座談会の実施について
 - ↳ 学生たちが頑張っていたという要素を引き出すための質問項目を設けること
 - ↳ 鳥羽くん・稲葉さんのようなファシリテーターの後任を見つけない

<企画していく上で難しかった点>

- ・ スケジュールがなかった（企画・体験イベント・撮影収録・番組制作・放送の全てに関して）
- ・ コロナ渦の中での実施だったので、リアルがなかなか出来ず（撮影含む）、オンラインで対応したこと。
- ・ 各学校との打ち合わせやなどのコミュニケーションが対面で出来なかったのが難しかった。
- ・ リアルイベント展開の実施が難しかった。（予定していたTGC、超福祉展もオンライン実施）
- ・ 時間の関係上、実施ベースのプロモーション展開しかできなかった。
- ・ タレントなどの出演（イベント・番組）もコロナの影響で調整が難しかった。

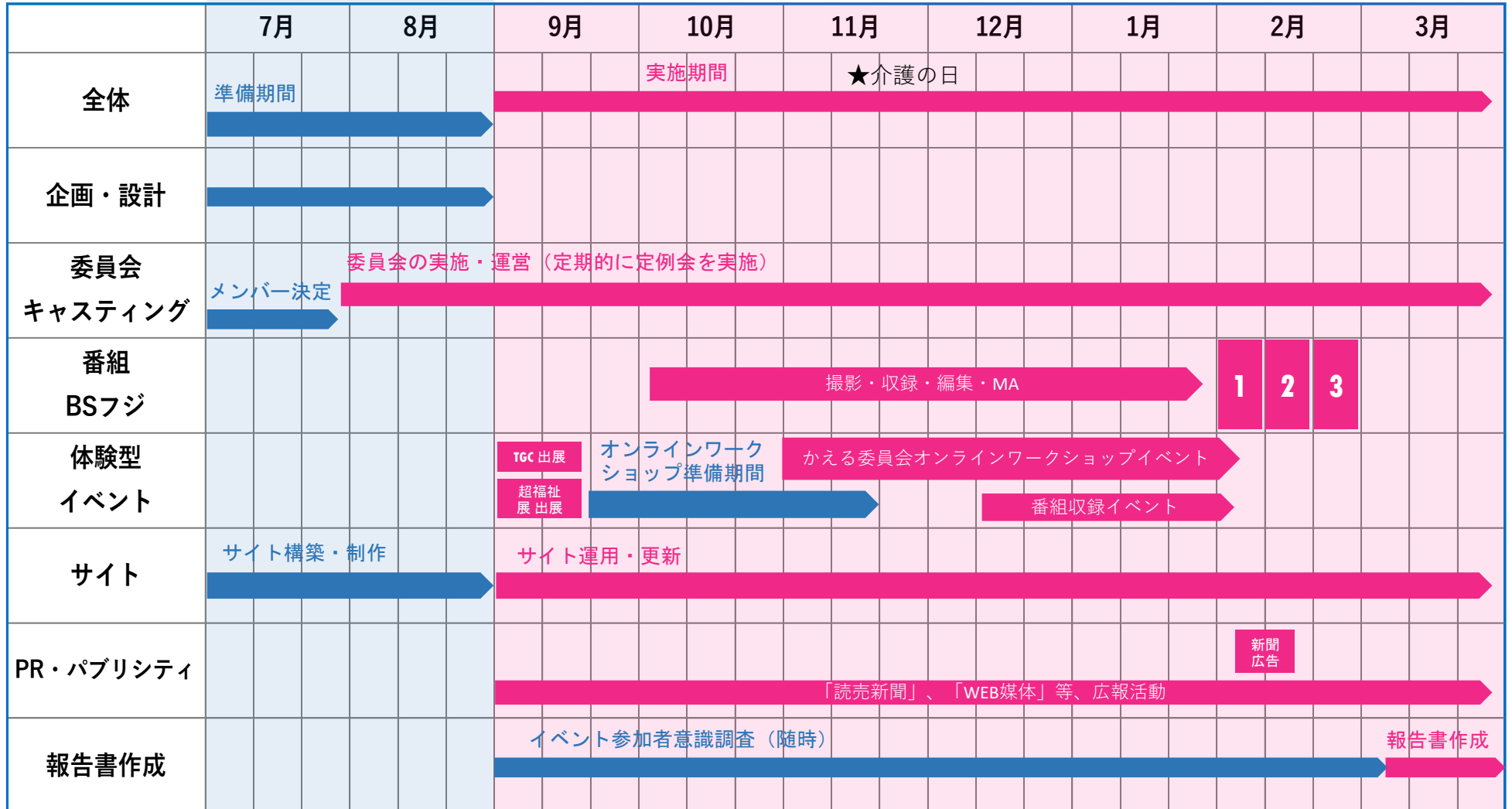
※各種分科会（PR会議、アドバイザー打ち合わせ、タレント打ち合わせ、収録・撮影、社内会議、イベント打ち合わせ、番組打ち合わせ等）は別途実施。

実施概要

体験型イベント	実施日 (収録日)	テーマ	訴求ポイント	次世代への 介護・福祉の糸口	放送日 波及人数	WEB アーカイブ
超福祉展	2020.9.3(木) 13:00~16:30	介護・福祉とテクノロジー	超福祉プレイヤーと特別 ゲストによるトーク ショーやレクチャー、 ディスカッション	企業訪問により 介護・福祉の いまを学ぶ (わかる)	2020.9.3 視聴：2470人	2020.9.3 UP
TGC	2020.9.5(土)	昨年に引き続き介護・ 福祉の番組「にっぽん の要」放送決定	番組の告知 問題定義	介護・福祉のこ れからを前向き に「かえる」こ とを意識	2020.9.5 LINE LIVE: 163万 人 YouTube：85万 人	2020.9.5 UP
第一回	2021.2.7(日) 14:00~14:30	おしゃれをかえる	障がいがありながらも女 性起業家として活躍する 布施田祥子さんの紹介 (機能はそのままにデザ イン性を高めた靴)	【私でもできる かも(わかる)・ やってみたい(か わる)】という意 識変革	2020.12.24 収録 ロケ参加：4名 収録：15名 視聴：31万人	2021.2.7 UP
第二回	2021.2.14(日) 12:00~12:30	介護施設をかえる	介護施設あおいけあの斬 新な介護施設の秘密を紐 解く	【私でもできる かも(わかる)・ やってみたい(か わる)】という意 識変革	2021.1.14 収録 ロケ参加：4名 収録：15名 視聴：30万人	2021.2.14 UP
第三回	2021.2.28(日) 14:00~14:30	介護現場をかえる	上条百里奈さんが学生た ちの介護・福祉にまつわ る疑問に回答	【私でもできる かも(わかる)・ やってみたい(か わる)】という意 識変革	2021.1.14 収録 ロケ参加：4名 収録：15名 視聴：29万人	2021.2.28 UP

実施スケジュール

9月の「TOKYO GIRLS COLLECTION」「超福祉展」を皮切りに、2021年2月からは、BSフジで介護・福祉を学び、これからの前向きに考えていくことを目標とした啓蒙番組を3回放送実施。並行してWEBサイトやPR・パブリシティで「介護のしごと魅力発信」を展開しました。



事業の目的・ビジョン

介護・福祉の未来を明るく・前向きに変えるための資源は、
一人一人の「私にも何かできることあるかな？」という自発的な参加意識です。
令和元年度の取り組みで意識が変わったタレントや学生が自分たちの体験を生かした番組や各イベントを通じて
一人一人が「私にも何かできることはあるかな？」と考えることの大切さを伝えます。
そこで…令和2年度「**にっぽんの要**」プロジェクトでは、本年度の活動の中心となる
「**介護・福祉 かえる委員会**」を発足し活動しました。

昨年、大きな反響を呼んだこのプロジェクトが

今年も始動開始！

にっぽんの



<要 潤さんからのコメント>
またプロジェクトに参加させていただくこととなり大変楽しみにしています。
前は若者たちが頑張る姿を見て、逆に色々こちらが学べるがありました。今回は「かえる委員会」のテーマにもあるとおり、さらに踏み込んで、今回の活動・番組を通して世代を限らず、よりたくさんの方たちの意識、介護・福祉の一部のネガティブなイメージや、介護・福祉のこれからを前向きに「かえる」ことができるように取り組みたいと思います。

出演

俳優

介護福祉士・モデル

要 潤

上条 百里奈



■介護・福祉 かえる委員会とは？

「介護・福祉 かえる委員会」は、昨年放送した番組での様々な体験を通して、介護・福祉の「いま」について「わかった」ことで「わかった」ふたりの学生が発起人となり、一部のネガティブなイメージや、介護・福祉のこれからを前向きに「かえる」ことを目的として活動します。



事業の目的

様々な若者たちが、介護・福祉について「わかる」ことで「自分にも何かできることはないだろうか？」とそれぞれの立場で考えることで「かわる」様子を番組で伝えることによって一部のネガティブなイメージや、**介護・福祉のこれからを前向きに「かえる」**ことを目指しました。

もともと介護・福祉に興味関心がある若者



福祉系高等学校・介護福祉士養成校の学生たち



あまり介護・福祉と接点がない若者



「かえる委員会」の活動を通じた学びにより「わかる」

それぞれの「気づき」

専門職として特別な施設等で業務に従事するだけでなく、困っている人たちの力になる方法は実はたくさんあるんだなあ…

介護・福祉に関する問題は決して他人事ではないのかもしれない…

自分にも何かできることはないだろうかとそれぞれの立場で考えることで「かわる」

視聴者も番組を観ることで「わかる」「かわる」ことを追体験する

若者たちが「わかる」ことで「かわる」様子を番組やサイトで伝えることで一部のネガティブなイメージや、介護・福祉のこれからを前向きに

「かえる」

事業のKPI

①KPIのご報告

福祉・介護の体験型・参加型イベント実施事業「にっぽんの要」では「意識変容」をKGIとした「情報発信～関心の醸成」のための活動を行っていることから、その活動の「認知」「興味喚起」および「意識変容」の調査アンケートに関するKPIを設定しました。

	委員会・番組出演者	TGC/超福祉展	番組視聴者	公式サイトアクセス数	Youtube視聴者	アンケート回答者	広告/パブリシティ
定義	<p>■ 番組参加者 ・要潤 ・上条百里奈 ・大慈弥 レイ</p> <p>■ 委員会メンバー ・鳥羽和輝 ・稲葉玲衣 ・ティモンディ ・石川恋</p> <p>・神奈川県立津久井高等学校 ・千葉県立松戸向陽高等学校 ・帯広大谷短期大学 ・日本福祉大学中央福祉専門学校 (上記4校から各生徒5名)</p> <p>SNSのフォロワーを多く持つ大学生 (15名)</p> <p>■ 介護福祉の仕事に関する取材先 ・株式会社LUYL 布施田祥子 ・あおいけあ 加藤忠相 ・リリズムカ 柴田萌</p>	<p>主催者が発表した 来場人数と オンライン参加者数 ※TGCはイベント参加者（介 護・福祉に関心のない若者）に対 しての認知・周知 ※超福祉展はイベント参加者（介 護、福祉に関心のある方々）に対 しての認知・周知</p>	<p>BSフジでオンエアする 全3回の番組を 1つでも視聴したと 思われる人数 ※本プロジェクトの活動を番組を 通じて認知させた人数</p>	<p>・アクセス数 ・セッション数（延べ訪問者数） ・ユーザ数 ・ページビュー数</p>	<p>本事業において youtubeにアップした すべての動画再生回数 ※BSフジの番組に興味をもって もらって視聴してくれた人数 ※かえる委員会の活動に興味を 持ってもらった人数</p>	<p>本事業に参加または 本事業を知っていただいた方から 設定した意識調査の アンケート参加者数 ※アンケート回答時期に関しての セグメントはしていません</p>	<p>広告媒体は 読売新聞の紙面媒体のみ パブリシティは施策の話題性に応じて 適宜実施して記載獲得した媒体数 それらの想定接触ユーザー数</p>
カウントの 仕方		<p>主催者発表の数値とします。</p>	<p>実測が不可能なので、 下記理論値とします。</p>	<p>Googleアナリティクスから 取得</p>	<p>youtube動画の再生回数</p>	<p>アンケート回答者の総数</p>	<p>各媒体の 想定接触ユーザー数とします</p>
カウントの 頻度・時期		<p>主催者発表時</p>	<p>1回あたりの放送における 予測視聴世帯数18万世帯 (日中帯平均0.4% ×普及世帯4,512万世帯)と、 1世帯当たりの平均人数 (2.39人)を、</p>	<p>サイト運用にあたり適宜確認</p>	<p>動画のアップはすべて 2021年2月からなので それ以降適宜</p>	<p>すべてのアンケートの 応募終了時に1回</p>	<p>出稿・露出ごと随時</p>
進捗状況 21年2月17日 現在	<p>上記を番組制作完了時に 実現しています。</p>	<p>・TGCのべ約248万人 youtube再生回数 3262回 ・超福祉展 180名 youtube再生回数 2505回</p>	<p>放送回数（3回）と 掛け合わせた数字で試算。約 1,290,600人程度</p>	<p>・アクセス数 21,515 ・セッション数 19,948 ・ユーザ数 16,539 ・ページビュー数 23,946</p>	<p>第1回放送分 313,775回 第2回放送分 309,464回 第3回放送分 294,788回</p>	<p>16,283名</p>	<p>・新聞広告 約530万名 ・パブリシティ47媒体 約145,500名</p>

大型イベント

9月5日に開催された大型ファッション・ライブイベント「東京ガールズコレクション」とコラボした企画を実施し、プロジェクトの始動を発表。

**TOKYO
GIRLS
COLLECTION**
by girlswalker

東京ガールズコレクション（オンライン配信で実施）

2005年より開催されている、史上最大級のファッション・ライブイベントです。

「東京ガールズコレクション」では、イベントMCの田中みなみさん・NON STYLEさん進行の元、「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」にも出演する 上条百里奈さん、MCの大慈弥レイさん、「かえる委員」特別ゲストとしてプロジェクトに参加いただくティモンディさん・石川恋さんが登場。メインパーソナリティの要潤さんもVTRで出演し、プロジェクトのPRを実施しました。



- イベント総視聴者数：のべ約248万
- ・ LINE LIVE：163万
- ・ YouTube：85万
- Twitterで日本トレンド1位・世界トレンド7位
- YouTubeアーカイブ再生数「にっぽんの要」パート・4月1日時点：3,262回再生

大型イベント

9月3日に大型福祉イベント「超福祉展」とコラボした企画を実施し、プロジェクトの始動を発表。



2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展（オンライン配信で実施）

障害者をはじめとするマイノリティや福祉そのものに対する「心のバリア」を取り除こうというテーマで、渋谷ヒカリエを中心に毎年開催されている展示会で、今年が最後の開催となりました。

「介護・福祉とカルチャー」「介護・福祉とテクノロジー」をテーマに、それぞれ超福祉プレイヤーと特別ゲストを招いてトークショーやレクチャー、ディスカッションを実施しました。

9月3日 13:00-15:30 「介護・福祉とテクノロジー」



- 特別ゲスト : ティモンディさん
- ファシリテート : 鳥羽くん・稲葉さん
- ゲスト : 登嶋健太さん
多田隈理一郎さん



介護予防プログラム「VR旅行」とAIを駆使した本物の犬のように柔らかいという犬型ロボット「ゲルハチ公」の開発者がオンラインで参加。「かえる委員会」委員として番組にも参加予定の学生の鳥羽くん、稲葉さん、そしてティモンディのお二方が介護・福祉とテクノロジーについてセッションしました。



- イベントのオンライン視聴者数：180人
- YouTubeアーカイブ再生数（4月1日時点）：1,589回再生

9月3日 15:00-16:30 「介護・福祉とカルチャー」



- 特別ゲスト : 石川恋さん
- ファシリテート : 鳥羽くん・稲葉さん
- ゲスト : 布施田祥子さん
加藤千晶さん



下肢装具着用時にも履ける、機能とオシャレが両立した靴をプロデュースしている布施田祥子さんと、バリアフリーファッションをプロデュースしている加藤千晶さんによるレクチャーを実施。学生二人とモデルとしても活躍する石川恋さんも交え介護・福祉とファッションについてのセッションも実施。



- イベントのオンライン視聴者数：180人
- YouTubeアーカイブ再生数（4月1日時点）：916回再生

昨年引き続きBSフジにて『にっぽんの要～わかる・かわる 介護・福祉～』を 日曜日の日中帯で全3回放送！



番組：第1回 2021年2月7日（日） 14:00～14:30



想定視聴総数【約430,000人】

+YouTube再生数【約313,775回】+録画視聴

テーマ：「おしゃれを変える」

障がいがありながらも女性起業家として活躍する布施田祥子さんを招き、「おしゃれを変える」をテーマに介護・福祉を考えました。「かえる委員会プロジェクト」のスタートも発表！

<番組概要>

今のにっぽんの介護・福祉を学び、これからを前向きに考えていくことを目標とした啓蒙番組。昨年は、介護・福祉の現場に学生たちが参加し、本人とその同世代の視聴者の意識を【難しそう・関わりたくない】から【私でもできるかも(わかる)・やってみたい(かわる)】という意識変革を促しました。

今年は学生たちにリモートで番組に参加していただき、介護・福祉の革命家(かえた人)たちの発想や介護・福祉への向き合い方を肌で感じていただくことで、介護・福祉の世界をかえる事の魅力にも触れていただきました。また「かえる委員会プロジェクト」の活動を通して【学生でもかえる立場になれるんだ！】という共感を誘いました。

出演者：要潤(俳優)、上条百里奈(介護福祉士・モデル)、大慈弥レイク
スペシャルサポーター→ティモンディ(お笑いコンビ)、石川 恋(モデル)



昨年引き続きBSフジにて『にっぽんの要～わかる・かわる 介護・福祉～』を 日曜日の日中帯で全3回放送！

番組：第2回 2021年2月14日(日) 12:00～12:30



想定視聴総数【約430,000人】
+YouTube再生数【約309,464回】+録画視聴

テーマ：「介護施設をかえる」

介護施設あおいけあ代表・加藤忠相さんを招き、リモートで学生たちも参戦しながら4つのキーワードで斬新な介護施設の秘密を紐解きました。学生たちの意識もどんどん変化！



番組：第3回 2021年2月28日(日) 14:00～14:30



想定視聴総数【約430,000人】
+YouTube再生数【約294,788回】+録画視聴

テーマ：「介護現場をかえる」

上条百里奈が学生たちの介護・福祉にまつわる疑問に回答。現場での技術も披露しました。また「かえる委員会プロジェクト」の成果発表を受け、著名人たちから称賛コメントが続々！



『にっぽんの要～わかる・かわる 介護・福祉～』かえる委員会

介護・福祉を学ぶ現役学生たちが考えた介護・福祉のイメージ改善のための取り組み

これからの介護・福祉を明るく前向きに「かえる」ために、自分たちが感じている課題に対し、その具体的な改善方法を考えるというオンラインワークショップを昨年11月27日から実施しました。そのイベントに参加した、今、実際に介護・福祉を学ぶ学生たちでつくる「介護・福祉 かえる委員会」のメンバーが学校ごとに考えた課題・改善案をまとめてくれた提案ムービーをご紹介します。

「介護・福祉 かえる委員会」とは

「介護・福祉 かえる委員会」とは、昨年度に本事業に参加したことで、自身の理解を深め意識が変わったという2人の大学生を中心に、2020年度に発足したグループです。

参加校

- ・千葉県立松戸向陽高等学校 福祉教養科
- ・神奈川県立津久井高等学校 福祉科
- ・日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科
- ・帯広大谷短期大学 社会福祉科 介護福祉専攻



4校のプレゼンムービー



千葉県立松戸向陽高等学校 福祉教養科
「介護のイメージ改善」



神奈川県立津久井高等学校 福祉科
「Smile Care Worker 介護・福祉を自分のこととして感じられるドラマ作り！」



日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科
「日本人介護者と外国人介護者との交流 ～在学時の外国人留学生との関わりを通じて～」



帯広大谷短期大学 社会福祉科 介護福祉専攻
「VRで「もう一度」を叶える」

『かえる委員会』に参加した各校の声

千葉県立松戸向陽高等学校 福祉教養科



生徒さん

授業では福祉のイメージを変えるという話まででしたが、行動に移すところまで出来たので良い経験になった。

少しでも福祉のイメージを変えていけたらと思う。

リモートでの話だったので、ほかの学校の方と直接お話をしてみたかった。

先生

短い期間だったが、途中の相談会など、最後まで伴走して、評価を頂くという一連の流れを経験出来たのが良かった。自分達が出来るとは何かを見つめる時間を持てたのが良かった。

神奈川県立津久井高等学校 福祉科



生徒さん

プロジェクトを通して、介護のいいところ悪いところを確認できるいい場だと思った。

違う高校と組んで提案する、というのもやってみたいと思う。

実際に会ってアンケート調査みたいのを（委員長や他校の学生と）一緒にしたいなと思った。

先生

「つくりだす」ということをしない最近の子たち。与えられたものはやれるが、自分で問題提起し、考える時間・機会を設けられたのは良かった。

帯広大谷短期大学 社会福祉科 介護福祉専攻



生徒さん

クラスメイトとも案を出し合った。色々な発想や考えがあるということに気づけていい経験になった。

動画作成とか新たな視点を実感できて良い刺激になった。

やる時期をもう少し考慮してほしい。2年生は国試前のため、もう少し早めにした方がいいと思った。

先生

オンライン上でも繋がりを持てたという点では良かった。これから自分たちでやっていきたいという意識が芽生えたのではないかなと思いました。【コロナ禍での新しい出会い】

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科



生徒さん

テレビに出られるというところが良い経験に。緊張も含めて良かった。国家試験の復習として振り返る勉強にもなりました。

色々な課題点を見つけ、どう知らない人に伝えていくか？という手段を考える事、私の思いつかない意見を知ることが出来た。

オンラインだと機材不調のラグで反応がずれると話がスムーズにいきづらかったです。

先生

日頃の問題意識や、学習してきたことを振り返る本当にいい機会を頂きました。学生たちの活動の場は、学校内と実習先の狭い域なので、今回のような経験は、活動の幅が広がる。

『にっぽんの要』番組収録イベントに参加した大学生の声

◎収録体験に参加してみて介護・福祉のイメージは変わった？

Aさん

変わりました。参加する前は介護職のイメージが暗く大変そうだった。参加したことで介護の職にもいろいろな形があって一人一人にあった介護として明るいイメージを持った。

Bさん

変わりました。収録前は興味がなかった。遠い存在の職業で「大変そうだな」と他人事だったんですけど、いろいろ収録中に話を聞いて、わからないなりにイメージしていたものが昔の介護のかたちだとわかりました。今は介護だけと一緒に生活するという明るい楽しいイメージになりました。

Cさん

変わりました。最初は大変というか、当たられたりするんだろうなと思っていて、メンタル強くないとやっていけない仕事だと思っていたんですけど、和やかな職場だなと感じました。

Dさん

変わりました。初めは介護される側は病院で入院している人というイメージだったんですけど、それよりも和気あいあいとしていて楽しいイメージに変わりました。

◎今回この番組収録に参加してよかったと思いますか？またそれはどのような点においてですか？

Dさん

参加して良かったと思います。今までの介護のイメージが先入観というか思い込みだったんだなということがわかって、介護のかかわり方にもいろんな方面からの関わり方があるのでそこで参加することもできるんだなという思いが強くなりました。

Cさん

参加して良かったです。イメージはすごく変わったし、靴というかたちでの介護もあるという、ああいう靴が作られているのを知らなかったのでもうこんなことを知れてよかった。

Bさん

参加して良かったと思います。興味がなかったことに興味が持てたというのが一番大きくて、道具とか技とか見せてもらったんですけど、それを見ていろいろやりようがあるんだなと視野が広がったと思います。

Aさん

参加してとても良かったです。今まで持っていた介護のイメージも変わったしやっぱり知らなかったことを知れたのが良かったです。

『にっぽんの要』番組出演の声



「介護というと、少しハードルが高いイメージがありました。でも、特別な知識がなくてもできることはあって、日常の中に介護のヒントはあると思うと、すごく身近に感じました。コロナ渦なので難しいこともありますが、会いに行ったり、話をしたりというのもひとつ、できることからやってみたいなと思いました。また、介護する側・される側という壁を取っ払って、ひとつの社会・地域として考えている点もとても素晴らしいと思います。」



「介護の現場にいると、認知症だけでなく周辺症状も重症化してから入所される方や、治療をすることもできず、寝たきりの状態になってから入所される方も多くいらっしゃいます。もっと早くSOSを出してくれたら、大きな支えが必要になる前に気づくことができれば…と思うこともあります。介護業界の人材不足は深刻な状況ですが、その背景には情報不足があって、介護や福祉について正しい知識を持つ人が増えたら『受けなくてもいい介護』や『受けなくてもいい医療』を減らしていけるのではと感じています。」



取り組もうとするエネルギーがどの学校にもあったね。今やっている姿勢をあきらめずに、情熱を持ち続けること。その姿勢があれば、何だって、やればできる！



皆さんの熱量のこもったプレゼンテーションに感動しました。私も色々な可能性を探してみたいと思いました。

『にっぽんの要』番組出演者・有識者の声



鳥羽君

短い期間でここまで仕上げるのは大変だったと思いますが、どの学校もメンバー同士で協力しあいながら、準備してくださったことと思います。本当にお疲れ様でした。全ての学校が、自分たちの身の回りの実体験や、アンケート調査を通じた明確な課題に対して、具体的な解決策をご提案してくださり、どれも非常にクリエイティブかつ、若者ならではの企画だなと思い、たくさんの刺激をいただきました。



稲葉さん

どの学校も個性的な提案で、発表を聞いていて楽しかったです。アイデアを出すとき、すごくワクワクしたんじゃないかなと思います。そのワクワクする気持ちが、これからの介護・福祉が明るく楽しいものだ、と、たくさんの人に伝わるために大切だと思います！

株式会社LUYL
代表 布施田さん

小学生、高齢者、同世代、外国人と、ターゲットが異り、どの学校もアンケートやリアルな声をもとに、現代ならではの解決法を見出していた所はとても見応えがありました。今後、あらゆる世代の方々への理解を深めるためにも、若者らしい発想で継続して発信していくことが大切だと思います。かえる委員会の取り組みが広がることで、介護や福祉に対するマイナスのイメージを払拭し、鳥羽さん、稲葉さんのように主体的に動く若者が増えてくれることを期待します。

介護施設あおいけあ
代表 加藤さん

アンケートを取った行動力、結果から正しい方向性を導いた発想力。だから、学生たちの考えていることは絶対に笑えなし、いつでも何かを気づかせてもらったことが非常に多かった。

株式会社リリムジカ
代表 柴田さん

介護・福祉に興味を持つ人が増えることが、これからの介護を支えるために大事。今回のように面白い企画やプレゼンをしていただくような仲間が増えていくといいなと思いました。

NPO法人ビープルデザイン研究所
代表理事 須藤さん
(アドバイザー)

介護に対するイメージ改善から介護現場の課題発見、解決策の検討と具体策の提案までを、わずか3ヶ月でやってのけた次世代の皆さんと先生方の熱量は企画段階の予想を超え、それぞれに主体性とワクワク感に満ち溢れたものとなった。中でも、生徒さん学生さんらが、限られた時間の中で、新しいテーマと動画プレゼンにチャレンジする喜びを随所に見られたのは新たな発見であり収穫であった。

公式サイトでの情報発信

WEBサイトにて、2020年度の「体験型・参加型イベントの開催」について情報発信を行いました。



URL <https://sankeikaigofukushi.com/>

- にっぽんの要の番組告知
 - 番組の動画アーカイブ
 - かえる委員会 活動報告
 - 「超福祉展2020」とコラボイベント
 - 「第31回 マイナビ 東京ガールズコレクション 2020 AUTUMN/WINTER ONLINE」イベントへの出展
 - アンケートの実施
- ※ 昨年の活動（要潤さん×上条百里奈さんインタビュー記事、昨年の番組アーカイブ動画等）

- ・ アクセス数 21,515
- ・ セッション数 19,948
- ・ ユーザ数 16,539
- ・ ページビュー数 23,946



公式サイトでの情報発信

番組は放送後、WEBサイトにアーカイブを掲載。見逃した人にも過去の番組を見られるように紹介しました。

ON AIR BSフジで特別番組「にっぽんの要」を全3回放送

俳優の要潤と現役の介護福祉士でありモデルの上条百里奈が、お笑いタレントのティモンディや、女優・タレントの石川恋をゲストに迎え、介護福祉の概念を変える驚きの技術や試みを紹介。

介護・福祉を学ぶ学生たちのワークショップでの取り組みを交え、これまでの介護・福祉の概念やイメージを変えていく特別番組を、BSフジで全3回の特番として放送。

**1** 第1回 2月7日放送分

「にっぽんのおしゃれをかえる！」

**2** 第2回 2月14日放送分

「にっぽんの介護施設をかえる！」

**3** 第3回 2月28日放送分

「にっぽんの介護現場をかえる！」

国民全般に向けた 普及啓発広報

読売新聞 全国版朝刊
7段多色記事広告の掲載



2021年2月14日掲載

介護のしごと魅力発信等事業

介護・福祉の“これから”を
見る・知る・わかる!

特別番組
「にっぽんの要」

ON AIR!
BS7シブ
本日12:00
2021年2月14日(日) 12:00-12:15

介護・福祉の「最新情報」と「明るい話題」をお届けします
「介護のしごと魅力発信等事業」(下部学研)の一部として2020年から実施している「にっぽんの要」。今回は、介護福祉「あいち」の世帯の関心アイデアや、介護・福祉の未来を世代を超えながら考える「アロハプロジェクト」(介護・福祉 かながわ県民局)の活動を紹介します。アロハプロジェクトの「介護・福祉のこれから」を自分ごととして考えてみましょう。

学生さんの
斬新な
アイデアに
びっくり!

介護・福祉への
考え方が
変わりました!

ご賞になればきっと
意識が変わるはず

今期、自分が賞に選ばれたことを
いえるんな方に伝えたい!

チームの姿に感動!
やればできる!

大塚 幸子
石川 志
アイモンアイ

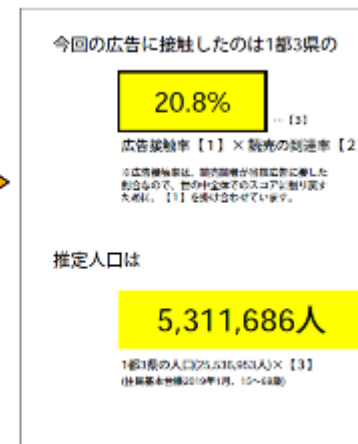
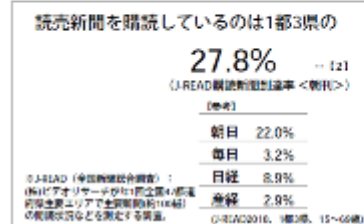
特別出演
上条 百里奈

介護のしごと魅力
発信等事業とは?

抽選で素敵なプレゼントがもらえる!
アンケートにぜひご協力を。詳しくは特設サイトをご覧ください。 <https://senjokanpaku.com/>

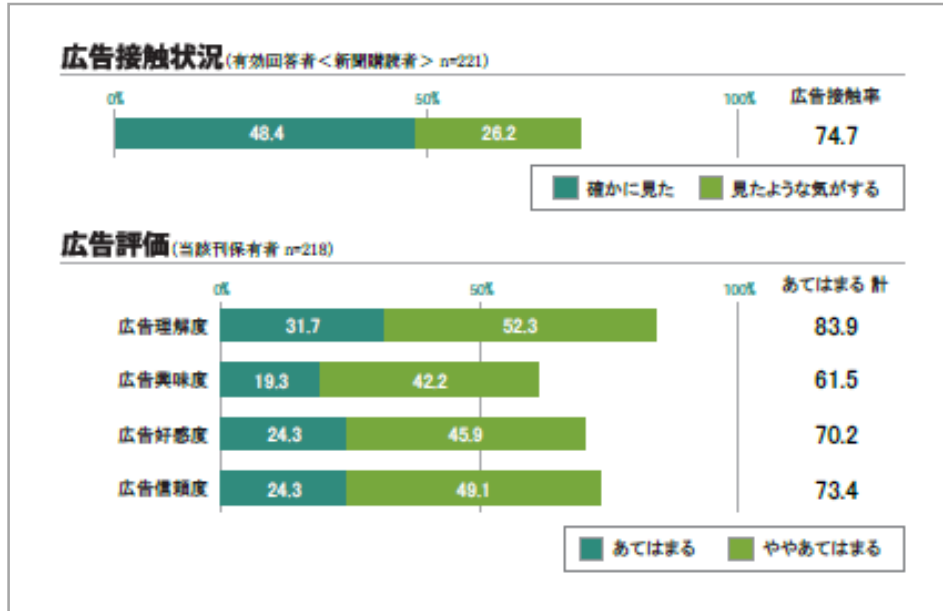
厚生労働省 | サンケイビルテクノ

番組詳細は
特設サイトで!



- 読売新聞全国約810万部（世帯普及率13.57%）の読者に対して訴求しました。
- 「にっぽんの要」第2回放送日に朝刊に掲載して、番組を告知するとともに、介護に関する興味・話題を喚起しました。

新聞広告に関する読者モニター調査結果



※新聞広告共通調査プラットフォーム「J-MONITOR」
(ビデオリサーチ) 調査より

■ 広告評価のところでは、「広告理解度」83.9%でしたので、読者に伝わりやすい広告だったといえると思います。

■ 広告による態度変容でも、「初めて『介護のしごと魅力発信等事業』を知った」58.3%、「ホームページを見たいと思った」7.3%など変化を促すことができました。

【自由回答より抜粋】

● それぞれのジャンルに特化したアイドルやモデルがいるものだが、介護福祉士モデルというのもあるのだなあと興味を持った。芸能人や自分と同年の人が介護についての番組に出ていることで、誰しもが直面する介護の問題に向き合うきっかけが増えそうなので、良い番組だと思った。(女性29歳以下)

● パーソナリティとゲストは現場経験のある介護福祉士をはじめ、俳優や芸人まで幅広く参加。それぞれにわかりやすい内容だろうと推測される。「介護」と聞くと「きつい。大変。重苦しい」とマイナスのイメージを抱きがちだが、この広告はそれが払拭される。あかるい背景色も気持ちを軽くしそうだ。(女性40代)

● 20代、30代の人たちの興味が広がるきっかけになるような広告だと感じた。「学生の斬新なアイデアにビックリ」というフレーズでアイデアの内容を知りたくなった。(女性50代)

想定リーチ数：合計145,500人

番組の放送をきっかけにパブリシティ活動を実施。WEBメディアにて計47媒体での露出を獲得いたしました。※一部掲載



番組の放送をきっかけにパブリシティ活動を実施。WEBメディアにて計47媒体での露出を獲得いたしました。※一部掲載



WEBメディア記載一覧

NO.	媒体名	日付	URL	タイトル	想定リーチ数
1	@PRESS(ソーシャルワイヤー)	8月31日	https://www.atpress.ne.jp/news/224274	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
2	ZAKZAK(産経デジタル)	8月31日	https://www.zakzak.co.jp/eco/news/200831/prl2008310230-n1.html	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
3	&M(朝日新聞社)	8月31日	https://www.asahi.com/and/M/pressrelease/pre_15665896/	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
4	SankeiBiz(産経デジタル)	8月31日	https://www.sankeibiz.jp/business/news/200831/prl2008311617186-n1.htm	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
5	SANSPO.COM(産経デジタル)	8月31日	https://www.sanspo.com/geino/news/20200831/prl20083116170230-n1.html	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
6	StartHome(キングソフト)	8月31日	http://devhome.kingsoft.jp/news/pr/atpress/224274.html	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
7	BIGLOBE ニュース	8月31日	https://news.biglobe.ne.jp/economy/0831/atp_200831_5596041427.html	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
8	Infoseek ニュース(楽天)	8月31日	https://news.infoseek.co.jp/article/atpress_224274/	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
9	Mapion(ONE COMPATH)	8月31日	https://www.mapion.co.jp/news/release/ap224274-all/	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
10	エキサイトニュース	8月31日	https://www.excite.co.jp/news/article/Atpress_224274/	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
11	NEWSRELEASE.SE	8月31日	https://newsrelea.se/wXZ8Jx	「超福祉展」×「TOKYO GIRLS COLLECTION」でコラボ発信！ 要潤、上条百里奈出演「にっぽんの要」セカンドシーズン始動！	500
12	WomanSmartLife	9月1日	https://www.womanapps.net/news_hMR1AlpzSY_367.html	介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート	3000
13	Infoseek ニュース(楽天)	9月1日	https://news.infoseek.co.jp/article/angie_307871	介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート	5000
14	エキサイトニュース	9月1日	https://www.excite.co.jp/news/article/Leafhide_woman_news_hMR1AlpzSY/	介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート	5000
15	めるも	9月1日	https://news.merumo.ne.jp/article/genre/10015207	介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート	2000
16	StartHome(キングソフト)	9月1日	http://sp.home.kingsoft.jp/news/life/womanapps/news_hMR1AlpzSY.html	介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート	2000
17	gooニュース	9月1日	https://news.goo.ne.jp/article/womanapps/trend/womanapps-20200823-11697.html	介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート	5000
18	GREE	9月1日	https://jp.news.gree.net/news/entry/3751766?from_ggnnews=top_category_news_5	介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート	5000
19	とれまがニュース	9月1日	https://hoken.toremaga.com/business/news/1626220.html	介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート	2000
20	ANGIE	9月2日	https://angie-life.jp/lifework/307871.html?fm=list	「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート。東京ガールズコレクションとのコラボも！	5000
21	エキサイトニュース	9月2日	https://www.excite.co.jp/news/article/Angie_307871/	「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート。東京ガールズコレクションとのコラボも！	5000
22	Infoseek ニュース(楽天)	9月2日	https://news.infoseek.co.jp/article/angie_307871/	「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート。東京ガールズコレクションとのコラボも！	5000
23	StartHome(キングソフト)	9月2日	https://home.kingsoft.jp/wrapup/beauty/angie/307871.html	「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート。東京ガールズコレクションとのコラボも！	2000
24	緑のgoo	9月2日	https://www.goo.ne.jp/green/column/angie_307871.html	「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート。東京ガールズコレクションとのコラボも！	2000
25	JUJUI.COM(時事通信)	1月6日	https://www.juii.com/jc/article?k=000000019.000031390&e=prt	かえるのピクルスNEWS	5000
26	WomanSmartLife	2月9日	https://www.womanapps.net/detail.php?pid=h43FrY4E	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！ 知っておきたい介護の現状とは？	3000
27	エキサイトニュース	2月9日	https://www.excite.co.jp/news/article/Leafhide_woman_news_h43FrY4E/	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！ 知っておきたい介護の現状とは？	5000
28	ウーマンエキサイトニュース	2月9日	https://woman.excite.co.jp/article/lifestyle/rid_WomanSmartLife_19c37556d8f2ad923b55fa0de42da24/	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！ 知っておきたい介護の現状とは？	5000
29	めるも	2月9日	https://news.merumo.ne.jp/article/genre/10454029	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！ 知っておきたい介護の現状とは？	2000
30	StartHome(キングソフト)	2月9日	https://home.kingsoft.jp/wrapup/life/womanapps/news_h43FrY4E.html	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！ 知っておきたい介護の現状とは？	2000

WEBメディア記事一覧

NO.	媒体名	日付	URL	タイトル	想定リーチ数
31	gooニュース	2月9日	https://news.goo.ne.jp/article/womanapps/trend/womanapps-20210204-12094.html	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！知っておきたい介護の現状とは？	5000
32	GREE	2月9日	https://jp.news.gree.net/news/entry/3916425	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！知っておきたい介護の現状とは？	5000
33	とれまがニュース	2月9日	https://news.toremaga.com/entertainment/entnews/1776291.html	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！知っておきたい介護の現状とは？	2000
34	dmenuニュース	2月9日	https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/womanapps/trend/womanapps-20210204-12094	「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の放送が今年もスタート！知っておきたい介護の現状とは？	2000
35	ANGIE	2月9日	https://angie-life.jp/lifework/310385.html	「介護のイメージが変わった！」要潤さん・上条百里奈さんが語る、最新の介護現場とその魅力	5000
36	エキサイトニュース	2月9日	https://www.excite.co.jp/news/article/Angie_310385/?p=3	「介護のイメージが変わった！」要潤さん・上条百里奈さんが語る、最新の介護現場とその魅力	5000
37	StartHome(キングソフト)	2月9日	https://home.kingsoft.jp/news/beauty/angie/310385.html	「介護のイメージが変わった！」要潤さん・上条百里奈さんが語る、最新の介護現場とその魅力	2000
38	緑のgoo	2月9日	https://www.goo.ne.jp/green/column/angie_310385.html	「介護のイメージが変わった！」要潤さん・上条百里奈さんが語る、最新の介護現場とその魅力	5000
39	Infoseek ニュース(楽天)	2月9日	https://news.infoseek.co.jp/article/angie_310385/	「介護のイメージが変わった！」要潤さん・上条百里奈さんが語る、最新の介護現場とその魅力	5000
40	Asa-Jo	2月12日	https://asaio.jp/excerpt/105233	“3K”の介護職はもはや古いイメージ？大学生のホンネを聞いてみた！	5000
41	ニコニコニュース	2月12日	https://news.nicovideo.jp/watch/nw8927172	“3K”の介護職はもはや古いイメージ？大学生のホンネを聞いてみた！	5000
42	エキサイトニュース	2月12日	https://www.excite.co.jp/news/article/Asaio_105233/	“3K”の介護職はもはや古いイメージ？大学生のホンネを聞いてみた！	5000
43	niftyニュース	2月12日	https://news.nifty.com/article/item/neta/12251-961955/	“3K”の介護職はもはや古いイメージ？大学生のホンネを聞いてみた！	5000
44	BIGLOBE ニュース	2月12日	https://news.biglobe.ne.jp/trend/0212/asi_210212_2759719381.html	“3K”の介護職はもはや古いイメージ？大学生のホンネを聞いてみた！	5000
45	LINE NEWS	2月12日	https://news.line.me/articles/oa-rop31714/030b588f0d20	“3K”の介護職はもはや古いイメージ？大学生のホンネを聞いてみた！	5000
46	Daily News Online	2月12日	https://dailynewsonline.jp/intro/2644633/	“3K”の介護職はもはや古いイメージ？大学生のホンネを聞いてみた！	2000
47	Peachy	2月12日	https://news.livedoor.com/article/detail/19684164/	“3K”の介護職はもはや古いイメージ？大学生のホンネを聞いてみた！	2000

その他

■ ツールの導入効果やメリット、デメリット

【番組】

- メリット・・・約129万人が視聴という、他メディアの中でも効果的なリーチできた。
またBSフジがYouTube広告配信で昨年度よりはるかに多い方に視聴してもらうことができた。（視聴者数増加）
- デメリット・・・様々なターゲットに見てもらおう媒体としてBS番組以外にも検討できる
- 解決方法・・・地上波や他媒体との組み合わせで様々なターゲットに視聴できるクロスメディア施策を検討

【WEB】

- メリット・・・プロジェクトや番組告知、その他アーカイブとしても機能もあり、そこそこの流入も図れた。
- デメリット・・・記事などコンテンツ数が少ない、動画への流入施策が取れていない。
- 解決方法・・・SNS連携した流入施策（タレントの活用）やキラーコンテンツによりサイト魅力のUPを図る

【新聞】

- メリット・・・読売新聞全国約810万部（世帯普及率13.57%）の読者に対して訴求できた。
- デメリット・・・回数が少ない、1回露出して終わりではなく2次利用などの検討も必要。
- 解決方法・・・サイトやパンフレット化等での2次利用や広告以外での記事化なども検討していく。

【PR】

- メリット・・・期間がない中で絞って、WEB媒体（約47媒体）などの露出を図れた。
- デメリット・・・露出後のアーカイブ化、その他様々なメディアへの露出が図れていない。
- 解決方法・・・年間通した企画・切り口の提案、PR活動により様々なメディアに露出を図り、アーカイブしていく。

【その他】

他5事業や介護関連団体と協働してプロジェクトの周知など今以上に積極的に取り組んでいく必要があると感じた。

■ イベント参加者の介護に関する入門的研修、職場体験等の参加件数について

- ・ 入門的研修への参加件数：1件
- ・ 職場体験の参加件数：2件

企画委員／総括コメント

NPO法人ピープルデザイン研究所代表理事 須藤シンジ

本年度施策は、介護の魅力発信に新しい可能性を感じさせました。その特徴的なポイントは以下の3点であったように思います。

- ・ 該当次世代の主体性の喚起と顕在化
- ・ 参加者によって繋がるバトン
- ・ タレントさんらの等身大の応援感とメディアミックス

コロナ禍の制約が多かった中でも、前年度参加（「わかる・かわる」）の大学生たちが、「かえる」ための当事者として「かえる委員会」を立ち上げ、主体的に現役の高校生／専門学校生／短大生をけん引する形で進行する企画は独自性の高いものでした。丁寧なオリエンテーションから始まり、生徒さん・学生さんの試行錯誤の期間に提供されたオンライン「相談会」のやりとりを見せていても、同じ世代同士で社会問題を考え、時に楽しさや憧れを持って解決策に取り組む姿には目を見張るものがありました。従来型の“大人”の想定を超えた、次世代の逞しい可能性が可視化された期間でもあったと言えるでしょう。動画発表までのワークショップのプロセスは、関係者全員にご覧いただきたいほど示唆に富んだ過程でしたが、進め方のノウハウとして、最終的に汎用可能なティップスムービーにまとめられていましたので、今後の各地での利活用が楽しみでもあります。

BS番組では昨年ひき続き、新しい発想で介護や福祉の現場で活躍する人物や方法論にフォーカスされていたことが魅力的でした。介護というと、とかく高齢者に目がいきがちですが、障害者も同様にステイクホルダーです。既存の番組ではとかく同情と感動で表現されがちなお題を、現在の働き手や、デザインとファッションでおしゃれに活動する障害当事者が、次世代の心を動かして様を垣間見られた点にも新規性を感じました。

また、本施策にご参加されたタレントさんたちの関わり方にも工夫が感じられました。彼ら彼女たちの芸能人としての一面だけでなく、介護という社会課題に等身大で向き合おうとする側面が可視化されていたのも製作者サイドの意図と推察できます。

今回明らかになった独自性の高い企画に、さらなる告知拡大と次世代参加者の幅を広げながら、全国的なフォーマット化を目指して継続・構築されていかれることを期待しています。

事業の成果

■社会に対する成果の還元 ～今年度事業中に得られた成果

作成した コンテンツ・ プログラム・ アウトプット等

■イベント

・TGC ・超福祉 ・かえる委員会ワークショップ

■放送

・BSフジ にっぽんの要 全3回放送

■WEB

・にっぽんの要 サイト

・YouTube動画

・BSフジ にっぽんの要 全3回放送分

・かえる委員会ワークショップ参加校 提案動画4本

・かえる委員会ワークショップの実施方法 紹介動画

・TGCと超福祉 イベントアーカイブ動画

■意識変容調査アンケート&グループインタビュー

介護・福祉の仕事に対し、本事業のアウトプットに接触した方の意識変化の集計結果

事業運営を通じ て得られた 知見・ナレッジ

かえる委員会ワークショップに参加いただいた、介護・福祉を実際に学ぶ学校の生徒・教員の多くの方々から、今回の取り組みにより「これまでなかなか日の当たらなかった学び」をクローズアップしたことに対し、大きな喜びと感謝を得ることができました。

さらに、自分が取り組む「介護・福祉」の仕事について、課題を発見し、解決法を考え、人に対して表現・発表していくというワークショップのあり方についても、多くの生徒・教員の方々から評価をいただき、今回の4校以外にも紹介していきたい、参加したいという学校は多々あるという声を頂戴しました。

また、松戸向陽高校の発表の中にあつたアンケートでは、同じ学校の中で普通科と介護・福祉科の生徒の両群とも「介護・福祉は難しい」という同じ声が出るも、その理由を紐解くと普通科は「よくわからないから」、一方介護・福祉科は「命を預かる仕事をきちんとやるということが“難しい”」という異なる理由によるものでした。

これは、実は私たち社会全体にも通じ、介護・福祉が自分事にならない方は前者、自分事となった方は後者という、それぞれ全く異なる理由であるにもかかわらず、そのイメージを一言で表すと「難しい」になってしまっているのではないか？

そして、実はここに介護・福祉のイメージ・印象を変える大きな鍵があると思われることに気づきました。

一方、現在集まりつつあるアンケートでは同校を含めた各校の発表をご覧になった方から、「介護・福祉の仕事」に対してイメージや意識が変わったという声も多く見られ、今回の取り組みのような学びの場からの「かえる」ためのアクションや発表が、「介護・福祉の仕事」に対する社会全体の意識をポジティブなものへ「わかる・かわる」としていく手ごたえを実感。

この取り組みを、今後の本事業の大きな一軸としていきたいと考えます。

■社会に対する成果の還元 ～還元の範囲・対象・方法

<p>還元するコンテンツ等の範囲・内容</p>	<p>WEBサイト「にっぽんの要」および、そこに掲載するYouTube動画は、今後も公開を継続。中でも・かえる委員会ワークショップの実施方法・紹介動画は、前ページにも記載した「今回のワークショップ」に参加したい、興味を持った介護・福祉を学ぶ学校の方々へのガイドコンテンツとして還元。 また、そこから投稿のあった「提案」や「考え」を「にっぽんの要」サイトに掲載していくことで介護・福祉を学ぶ学校の方々だけでなく、広くあまねく方への訴求媒体として社会へ還元します。</p>	
<p>還元対象</p>	<p>介護・福祉を学ぶ学校、介護・福祉の仕事に実際に取り組まれる方々 介護・福祉領域での事業者や、同領域に課題を持つ業界団体・自治体の方々</p>	
<p>還元方法</p>	<p>自社による活用</p> <p>業界団体や自治体等への活用促進</p>	<p>令和元年から継続する本事業でのこれまでの取り組みはもちろん、今年度のワークショップ参加校の「提案」や「考え」、番組・サイト、参加校からのご紹介などを通じて、新たに「かえる委員会」の活動に賛同し、投稿してくれた方（学校など）の「提案」や「考え」を随時、弊社のWEBサイト「にっぽんの要」に追加掲載していきます。</p> <p>今年度のワークショップの取り組みで出た、介護・福祉の仕事についての「提案」や「考え」、番組・サイトをご覧になり、新たに投稿してくれた方（学校など）の「提案」や「考え」を、「実現」し、社会に「実存」させることは、「介護・福祉の仕事」に対する社会全体の意識をポジティブなものへ「わかる・かわる」としていく大きな力となると考えます。</p> <p>そのため、介護・福祉領域での事業者や、同領域に課題を持つ業界団体・自治体の方々に対し、この取り組みと寄せられた「提案」や「考え」を「実現」するための協賛や後援を募り、一つでも多くのものを「実存」させていく取り組みを推進していきます。</p>

■ 自立・自走に向けた取り組み

課題

昨年度・本年度とも、弊社の取り組みのアウトプットであるBS番組放送、WEB掲載は、新聞広告やパブリシティ+SNS拡散という方法で周知してきましたが、我々の活動の認知・周知拡散についてのアプローチが、ワークショップ・番組制作・放送など「イベント」の実施可能なスケジュールに基づいた随時訴求という方法を選択せざるを得ないため、理想的な設計にすることが難しかったこと。

昨年度からの取り組みの中で、今年度実施した、「かえる委員会ワークショップ」でのアウトプット（介護・福祉の仕事についての「提案」「考え」）を、「介護・福祉の仕事」に対する社会全体のイメージ向上や、介護福祉の現場で活躍する人材獲得に結び付けるための、あと一步（考えの実現）まで到達できなかったこと。

この2つが、「自立・自走に向けた取り組み」のための課題と考えます。

課題解決の アプローチ

前者については、今期実施した「かえる委員会ワークショップ」については、構築できた基本メソッドがあること。また、その取り組みに対し「来年も参加したい」「他の学校にも紹介したい」という学校側からの応援の力もお借りし、今年度の活動を終えた後も継続が可能です。

そのため、全国で同時多発的に参加いただける、このイベント（かえる委員会）の活動を主軸とし、その発表・評価の場を、社会の耳目を集めるBIGイベントという縦付けとすることで本活動の認知・周知拡散についての方法やスケジュール設計を、「実施」に合わせるのではなくこちら側でイニシアチブをとることが可能と考えます。これにより、コロナなど社会状況を問わず、年間を通じての活動に対し、ティザーから山場までの盛り上がりを作っていくという、我々が本来、最も得意とするプロモーション設計を行いたいと考えています。

後者についても同様に、今期基本フレームができた「かえる委員会ワークショップ」のメソッドと人脈を活用。今年度のすでに集まった「提案」「考え」や、今後集まってくる「提案」「考え」という資産を弊社のネットワークはもちろん、厚労省様、他事業社様のご協力も仰ぎつつ、協賛企業の開拓を進め、資金を募ることで「実現・実体化」した財産に変えていくための取り組みを考えています。

これにより、本事業を「自立・自走」だけでなく、継続性のある事業とするための足場づくりとし、ここで実現したモノ・コトを「介護・福祉の仕事」に対する社会全体のイメージ向上や、介護福祉の現場で活躍する人材獲得というビジョン実現のための成果物としていきたいと考えています。

アンケート

※定義に関してはP16頁をご参照ください。

アンケート回答者の
属性について

アンケート回答者の属性

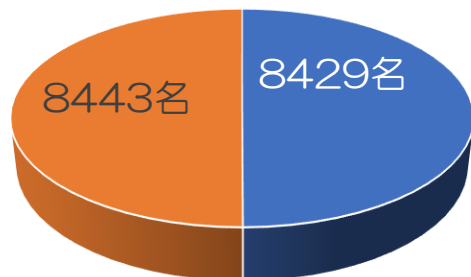
性別	年代		家族の要介護者		職業	
					介護従事者	その他
男性	10代	109名	いる	23名	介護従事者	2名
					その他	21名
			いない	86名	介護従事者	6名
					その他	80名
	20代	1761名	いる	809名	介護従事者	12名
					その他	797名
			いない	952名	介護従事者	17名
					その他	935名
	30代	1978名	いる	921名	介護従事者	28名
					その他	893名
			いない	1057名	介護従事者	25名
					その他	1032名
	40代	2061名	いる	978名	介護従事者	38名
					その他	940名
			いない	1083名	介護従事者	20名
					その他	1063名
	50代	1379名	いる	663名	介護従事者	16名
					その他	647名
			いない	716名	介護従事者	9名
					その他	707名
	60代以上	266名	いる	104名	介護従事者	7名
					その他	97名
			いない	162名	介護従事者	2名
					その他	160名
			754名	754名	754名	

性別	年代		家族の要介護者		職業	
					介護従事者	その他
女性	10代	107名	いる	80名	介護従事者	1名
					その他	79名
			いない	27名	介護従事者	5名
					その他	22名
	20代	2649名	いる	1515名	介護従事者	51名
					その他	1464名
			いない	1134名	介護従事者	77名
					その他	1057名
	30代	3014名	いる	1511名	介護従事者	96名
					その他	1415名
			いない	1503名	介護従事者	50名
					その他	1453名
	40代	2167名	いる	1136名	介護従事者	41名
					その他	1095名
			いない	1031名	介護従事者	34名
					その他	997名
	50代	1274名	いる	629名	介護従事者	27名
					その他	602名
			いない	645名	介護従事者	10名
					その他	635名
	60代以上	107名	いる	60名	介護従事者	10名
					その他	50名
			いない	47名	介護従事者	5名
					その他	42名
			9318名	9318名	9318名	

今回の取り組みでは、合計16,283名の方にご回答いただきました。

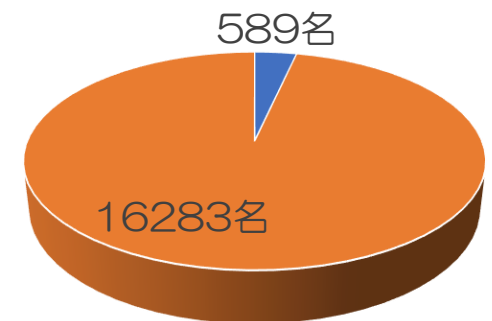
アンケート回答者の属性分布

家族の要介護者



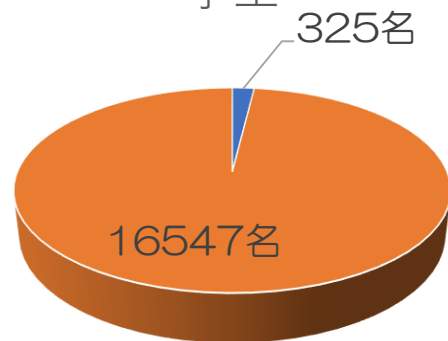
■ いる ■ いない

介護・福祉の仕事への従事



■ 従事している ■ 従事していない

学生

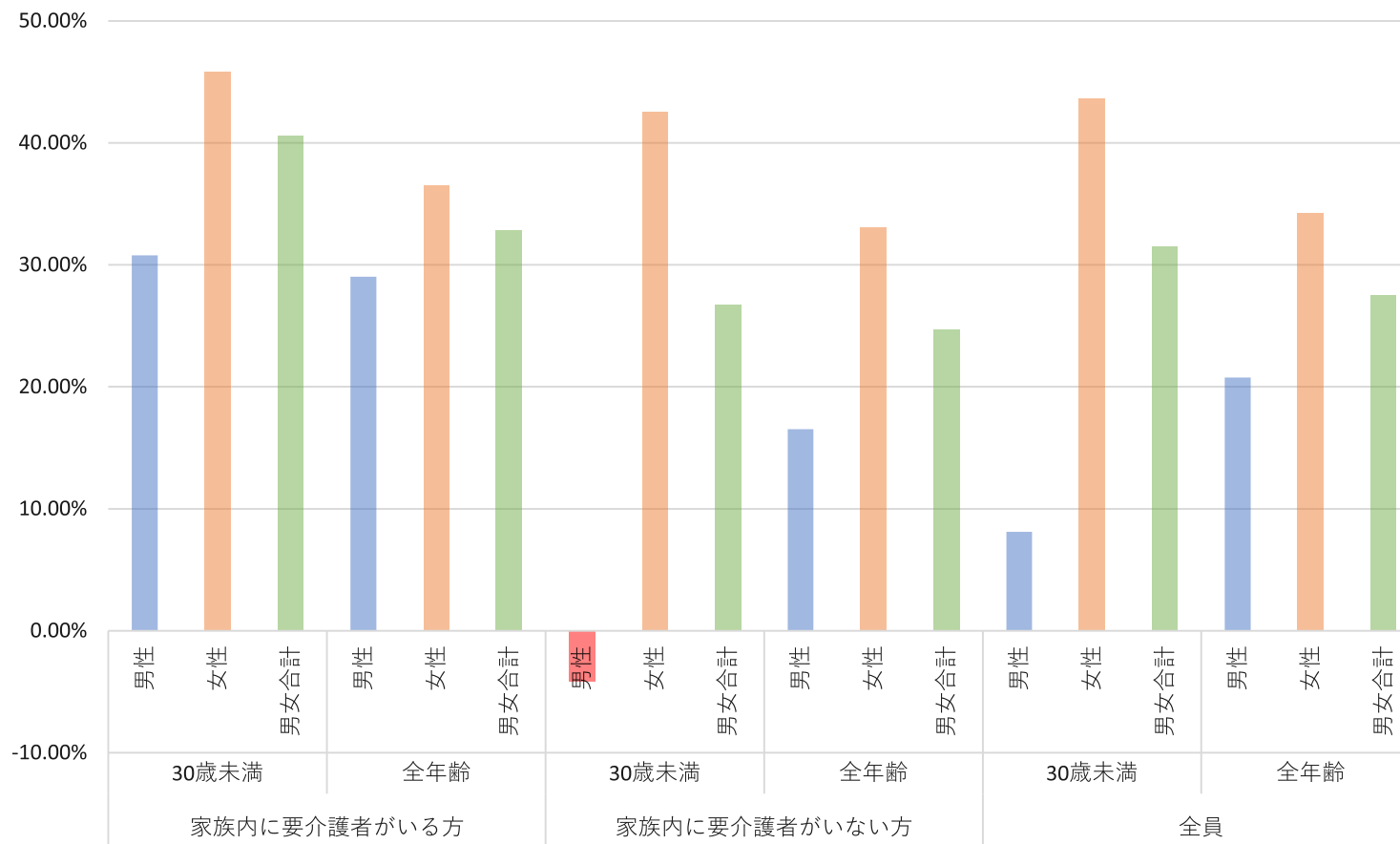


■ 学生 ■ 学生ではない

今回のアンケートでは全16,283名のご回答者の、約50%がご家族に介護が必要な方、約3.5%が、今実際に介護・福祉の仕事に従事されている方。約2%の方が学生という属性分布となった。

動画・番組視聴による
介護・福祉の仕事に対する
意識改善効果

動画・番組の視聴による 介護・福祉の仕事のやりがいについての意識改善

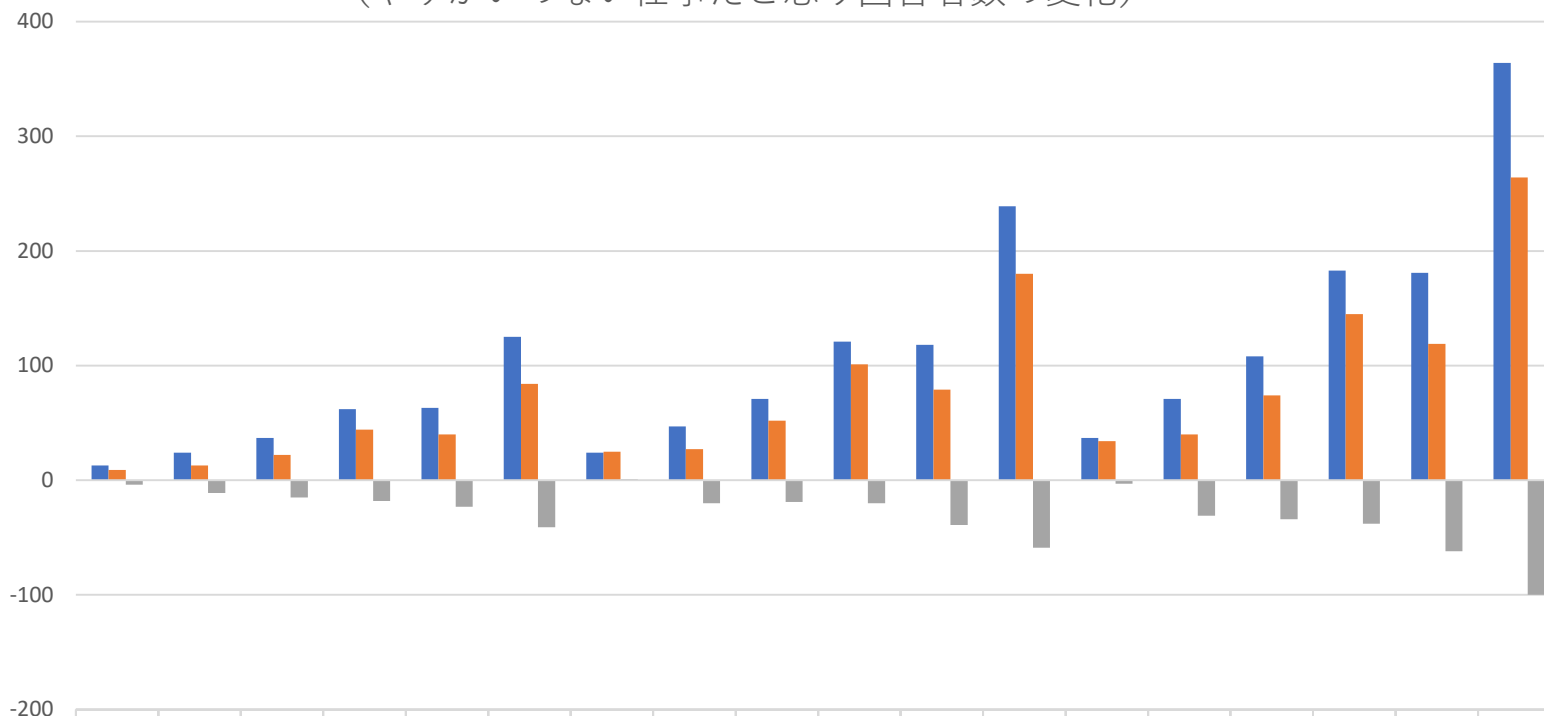


全体を通して約30%の意識改善を実現。女性については全般的に改善率が高い結果となったが、「家族内に要介護者がいない30歳未満の男性」については改善が見られなかった。(※)

比率は次ページに記載の回答者数について「家族内に要介護者がいる 30歳未満 男性」など、個別対象ごとに意識に変化のあった人数×(-1) / 事前回答者数 で算出。

※「意識変化人数」 × (-1) にしている理由は、ネガな意識の方が「減った」=ポジ意識が「増えた」人数のためとなります。

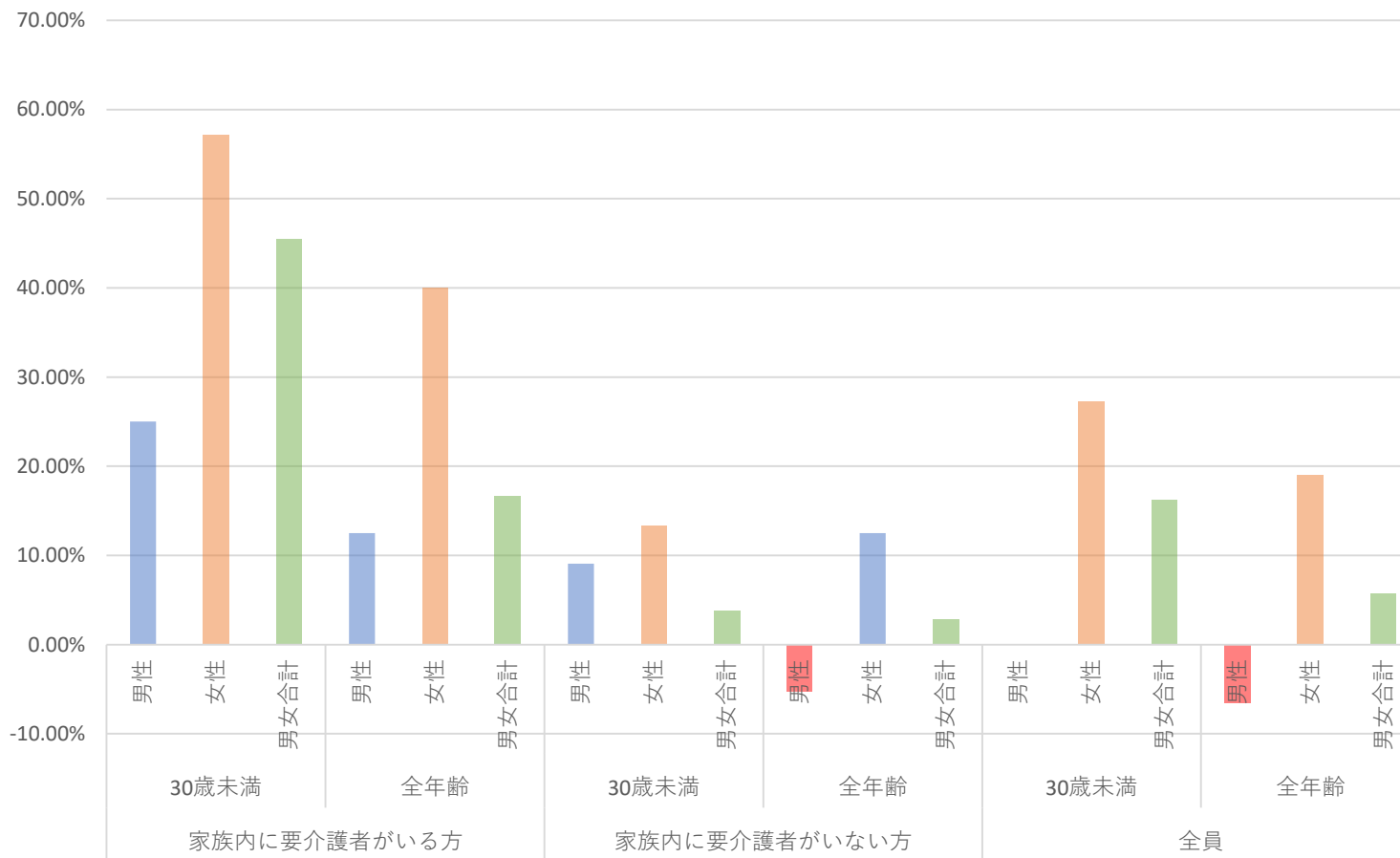
動画・番組の視聴による
介護・福祉の仕事のやりがいについての意識改善
(やりがいのない仕事だと思回答者数の変化)



	家族内に 要介護者がいる方			家族内に 要介護者がいない方			全員											
	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	30歳未満		全年齢		30歳未満		全年齢		男女合計			
■ Before	13	24	37	62	63	125	24	47	71	121	118	239	37	71	108	183	181	364
■ After	9	13	22	44	40	84	25	27	52	101	79	180	34	40	74	145	119	264
■ 変化人数	-4	-11	-15	-18	-23	-41	1	-20	-19	-20	-39	-59	-3	-31	-34	-38	-62	-100

■ Before ■ After ■ 変化人数

動画・番組の視聴による 介護・福祉の仕事の社会的意義についての意識改善

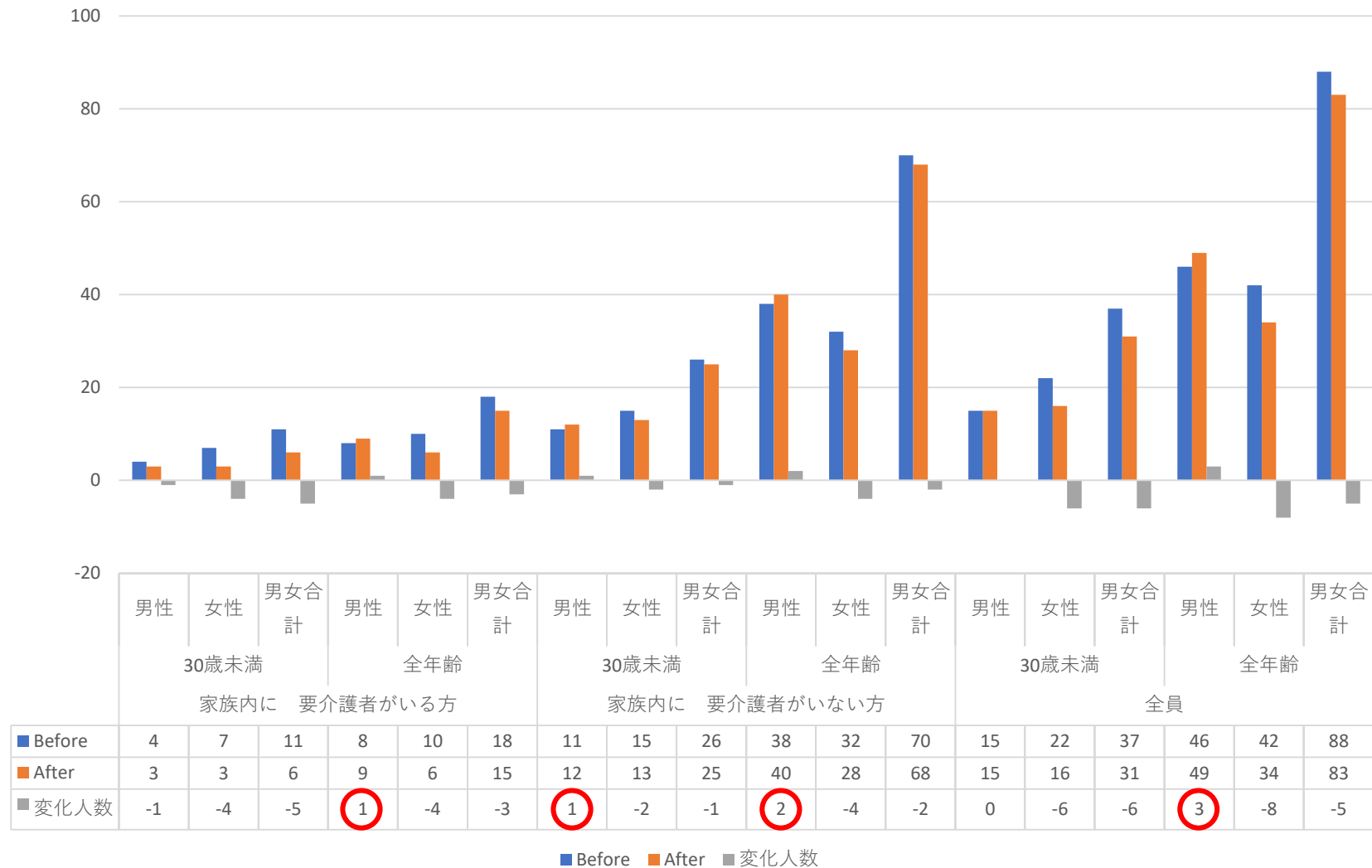


全体を通して約10%の意識改善を実現。特に家族に要介護者のいる女性の改善率が高い結果となったが、「家族内に要介護者のいない男性」については改善が見られなかった。(※)

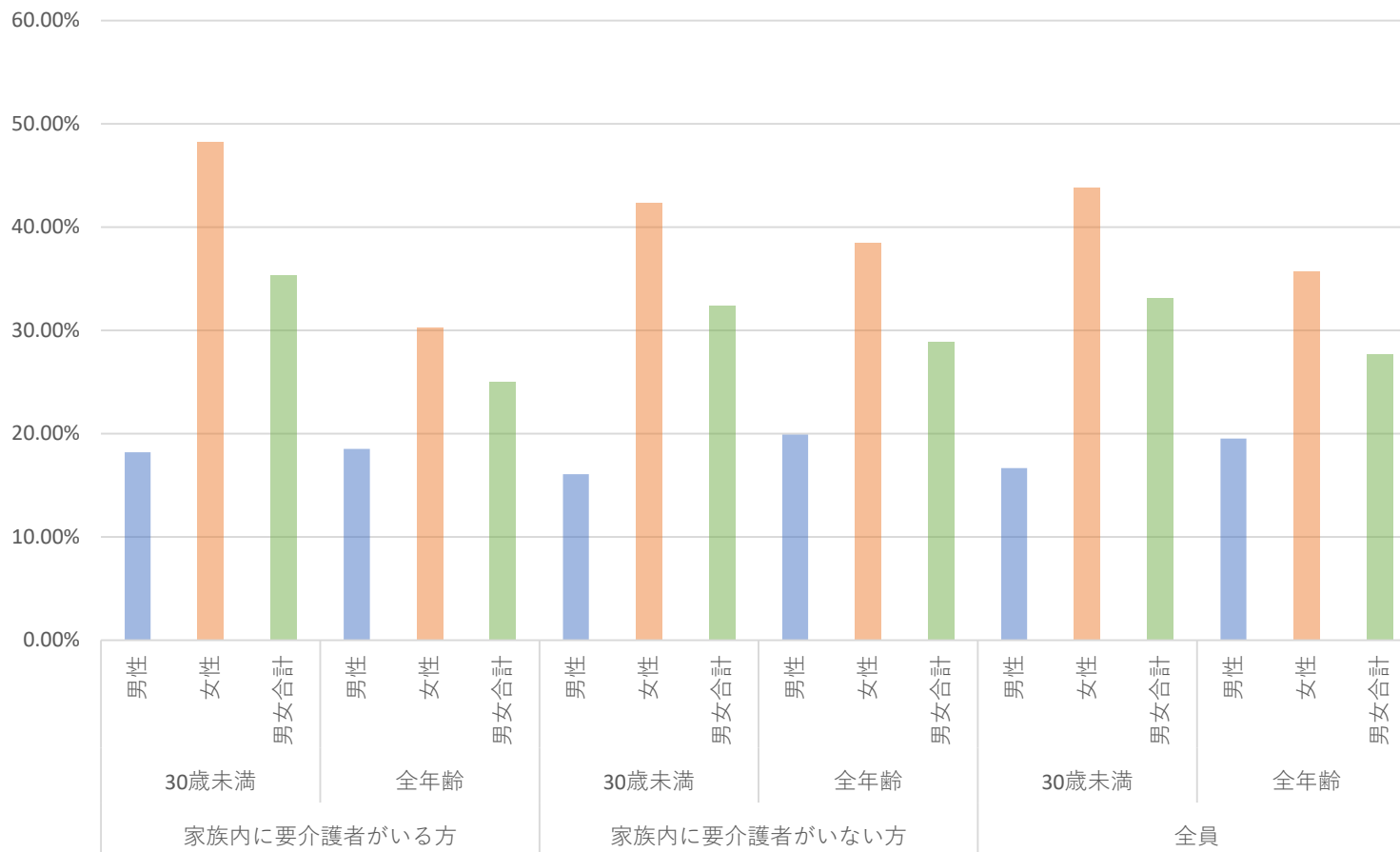
比率は次ページに記載の回答者数について「家族内に要介護者がいる 30歳未満 男性」など、個別対象ごとに
意識に変化のあった人数 × (-1) / 事前回答者数 で算出。

※「意識変化人数」 × (-1) にしている理由は、ネガな意識の方が「減った」=ポジ意識が「増えた」人数のためとなります。

動画・番組の視聴による
介護・福祉の仕事の社会的意義についての意識改善
(社会的意義はない、または感じないと思う回答者数の変化)



動画・番組の視聴による 介護・福祉の仕事における自己成長性への意識改善

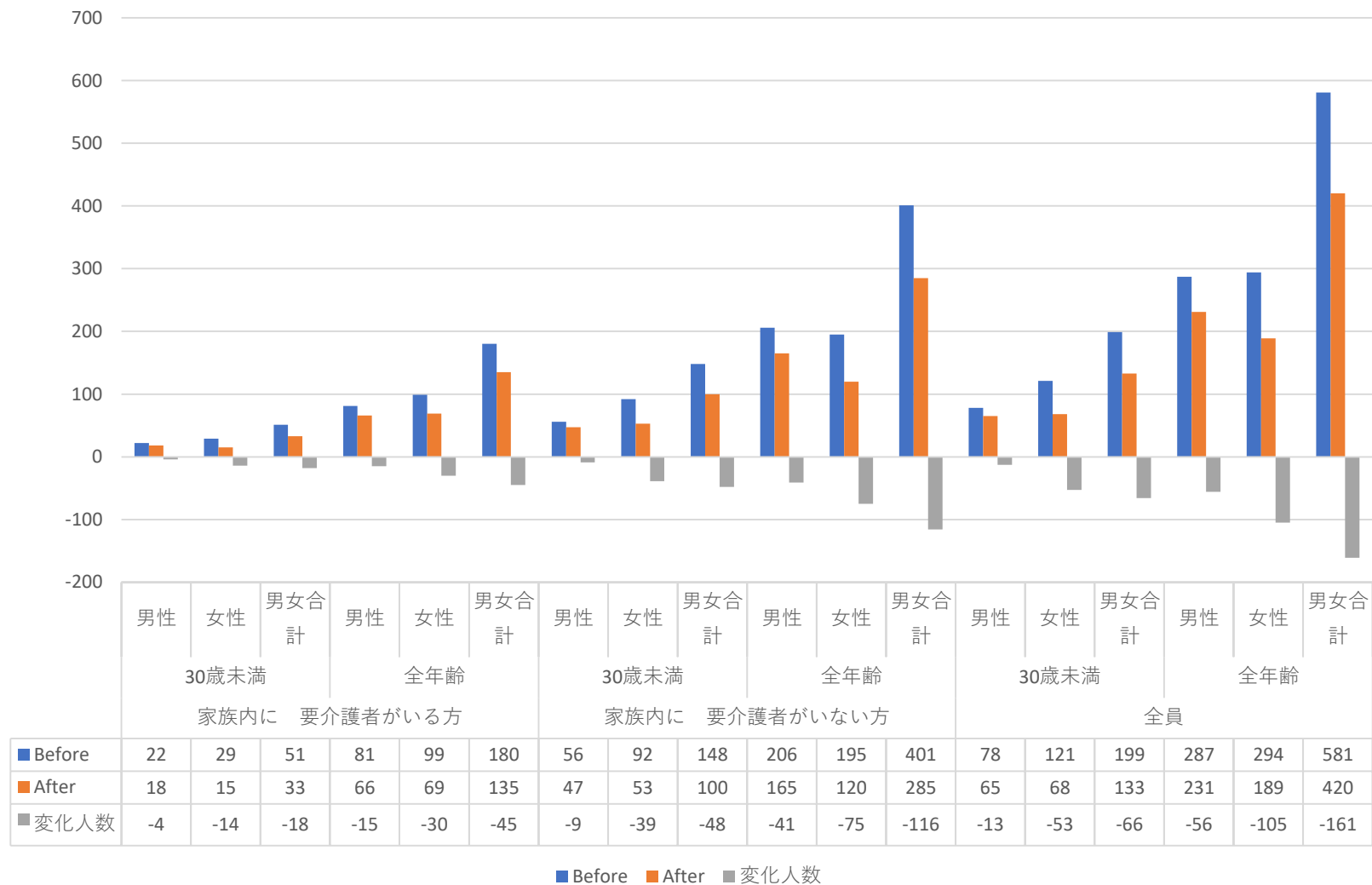


全体を通して約30%の意識改善を実現。
男女問わず改善率は高いが、とくに女性の改善率が高い結果となった。

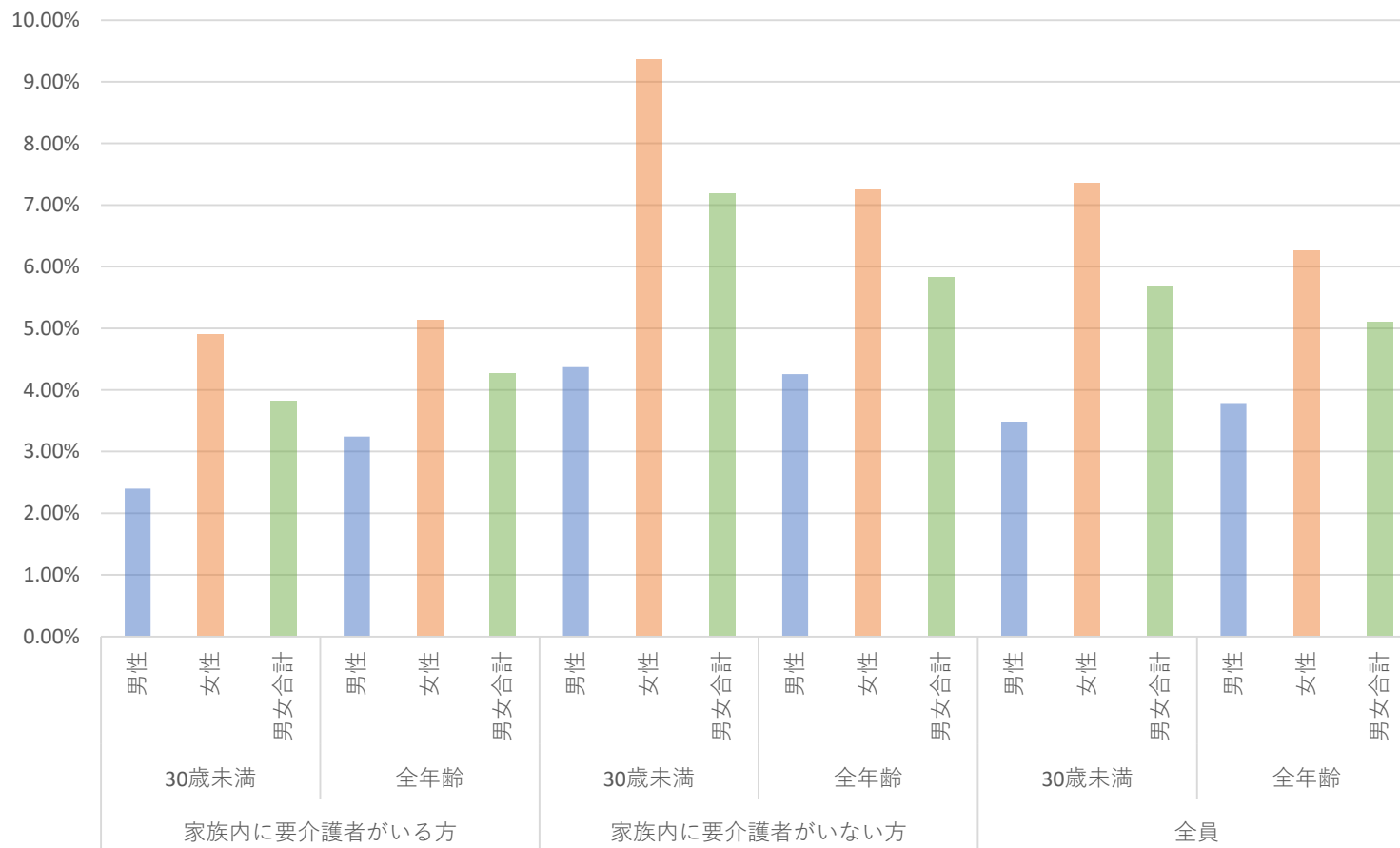
比率は次ページに記載の回答者数について「家族内に要介護者がいる 30歳未満 男性」など、個別対象ごとに
意識に変化のあった人数 × (-1) / 事前回答者数 で算出。

※「意識変化人数」 × (-1) にしている理由は、ネガな意識の方が「減った」=ポジ意識が「増えた」人数のためとなります。

動画・番組の視聴による
介護・福祉の仕事における自己成長性への意識改善
(自分自身の成長は期待できない仕事だと思回答者数の変化)



動画・番組の視聴による 介護・福祉の仕事の将来性への意識改善

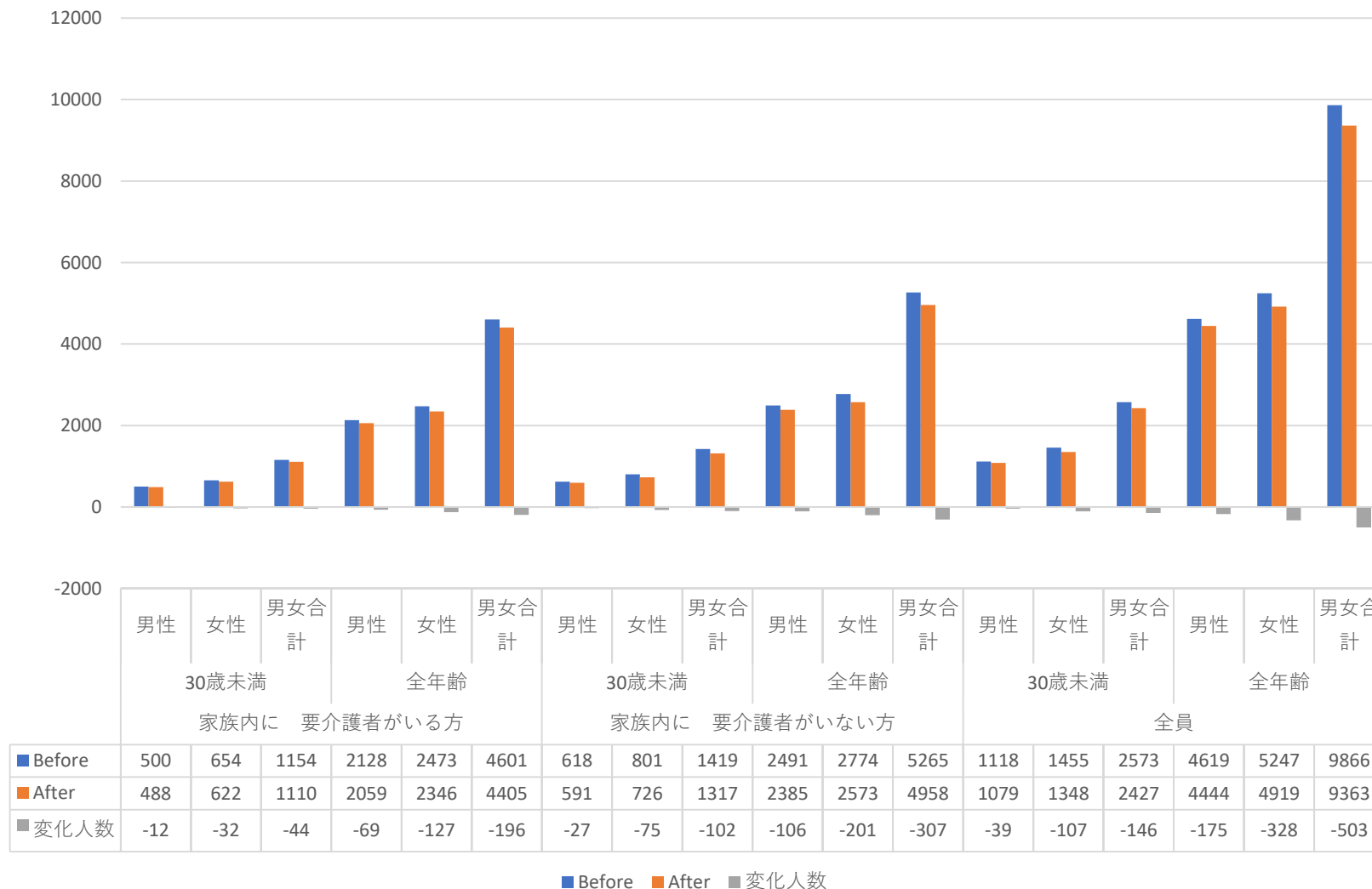


全体を通して約5%の意識改善を実現。
女性および家庭内に介護のいない方の改善率が高い結果となった。

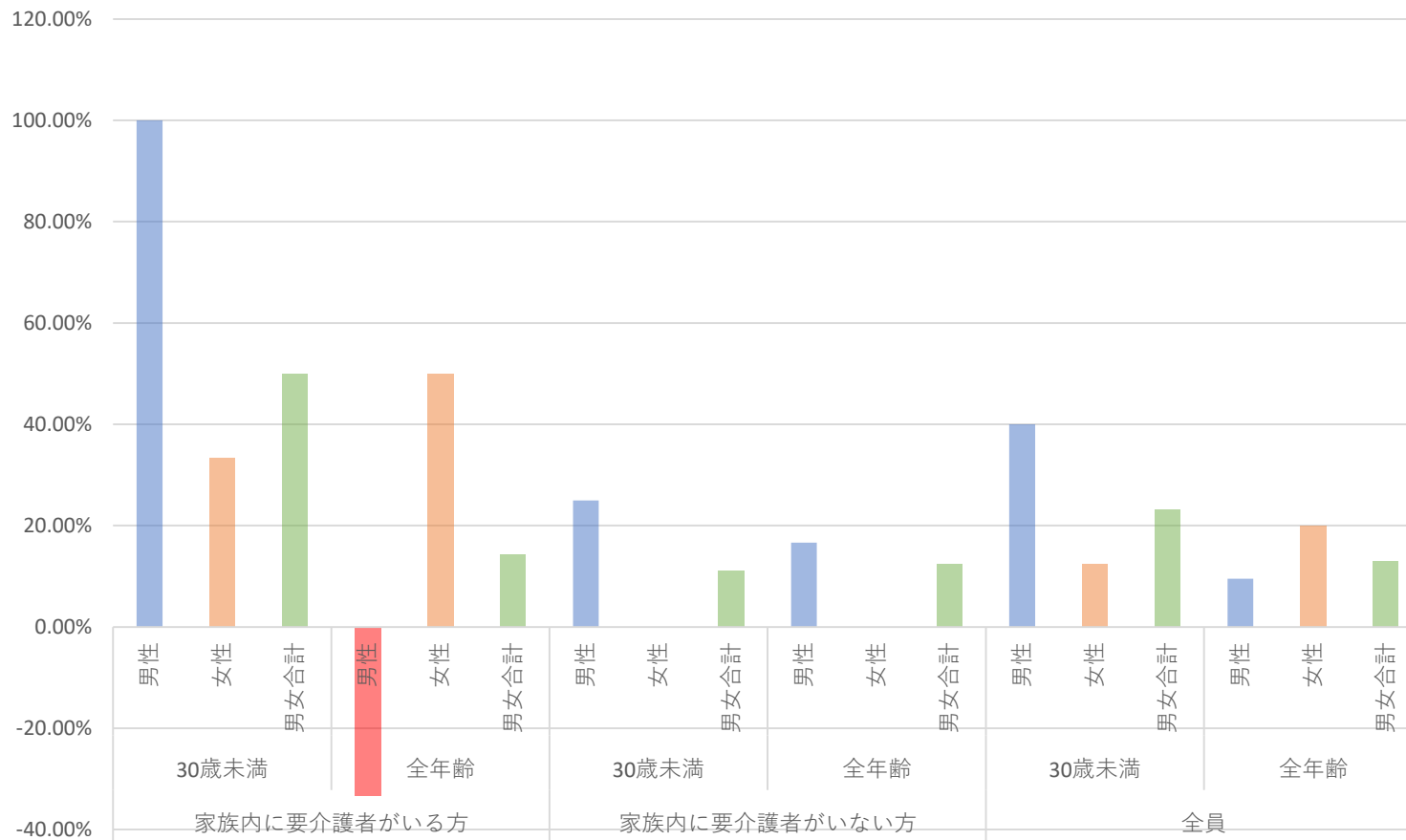
比率は次ページに記載の回答者数について「家族内に要介護者がいる 30歳未満 男性」など、個別対象ごとに
意識に変化のあった人数 × (-1) / 事前回答者数 で算出。

※「意識変化人数」 × (-1) にしている理由は、ネガな意識の方が「減った」=ポジ意識が「増えた」人数のためとなります。

動画・番組の視聴による 介護・福祉の仕事の将来性への意識改善 (将来に不安がある仕事だと思いう回答者数の変化)



動画・番組の視聴による
介護・福祉の仕事全体への意識改善
(前述の全項目にネガティブな回答した方の低減率)

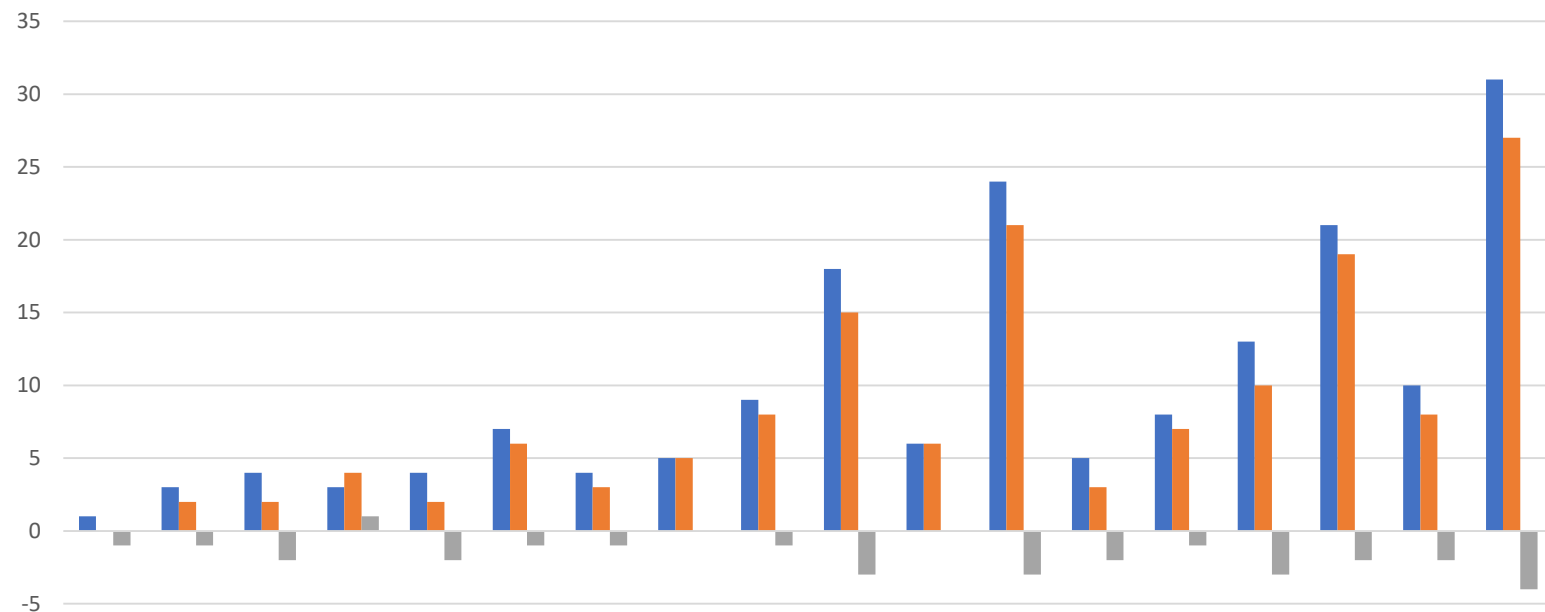


全体を通して約10%の意識改善を実現。
とくに30歳未満の男性の改善率は高い傾向があった。

比率は次ページに記載の回答者数について「家族内に要介護者がいる 30歳未満 男性」など、個別対象ごとに意識に変化のあった人数×(-1) / 事前回答者数 で算出。

※「意識変化人数」 × (-1) にしている理由は、ネガな意識の方が「減った」=ポジ意識が「増えた」人数のためとなります。

動画・番組の視聴による
介護・福祉の仕事全体への意識改善
(前述の全項目にネガティブな回答をした人数の変化)



	30歳未満			全年齢			30歳未満			全年齢			30歳未満			全年齢			全員		
	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計
Before	1	3	4	3	4	7	4	5	9	18	6	24	5	8	13	21	10	31			
After	0	2	2	4	2	6	3	5	8	15	6	21	3	7	10	19	8	27			
変化人数	-1	-1	-2	1	-2	-1	-1	0	-1	-3	0	-3	-2	-1	-3	-2	-2	-4			

■ Before ■ After ■ 変化人数

【考察】 今後の介護・福祉の仕事に対するネガティブイメージ改善について

介護・福祉の仕事へのイメージ (ネガティブな印象)		やりがいがない仕事		意義が認められていない 仕事		自分自身が成長できない仕事		将来に不安がある仕事	
		動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)
男性 30歳未満	1870	1.98%	1.82%	0.80%	0.80%	4.17%	3.48%	59.79%	57.70%
女性 30歳未満	2756	2.58%	1.45%	0.80%	0.58%	4.39%	2.47%	52.79%	48.91%
男性 全年齢	7554	2.42%	1.92%	0.61%	0.65%	3.80%	3.06%	61.15%	58.83%
女性 全年齢	9318	1.94%	1.28%	0.45%	0.36%	3.16%	2.03%	56.31%	52.79%
家族内介護者いる	7885	1.59%	1.07%	0.23%	0.19%	2.28%	1.71%	58.35%	55.87%
家族内介護者いない	8987	2.66%	2.00%	0.78%	0.76%	4.46%	3.17%	58.58%	55.17%
男女合計 30歳未満	4626	2.33%	1.60%	0.80%	0.67%	4.30%	2.88%	55.62%	52.46%
男女合計 全年齢	16872	2.16%	1.56%	0.52%	0.49%	3.44%	2.49%	58.48%	55.49%

今回の施策における各々の介護・福祉の仕事へのネガティブなイメージの改善は、前ページまでの結果となりましたがアンケート回答者16,872名のイメージを一覧化すると、この表のようになります。

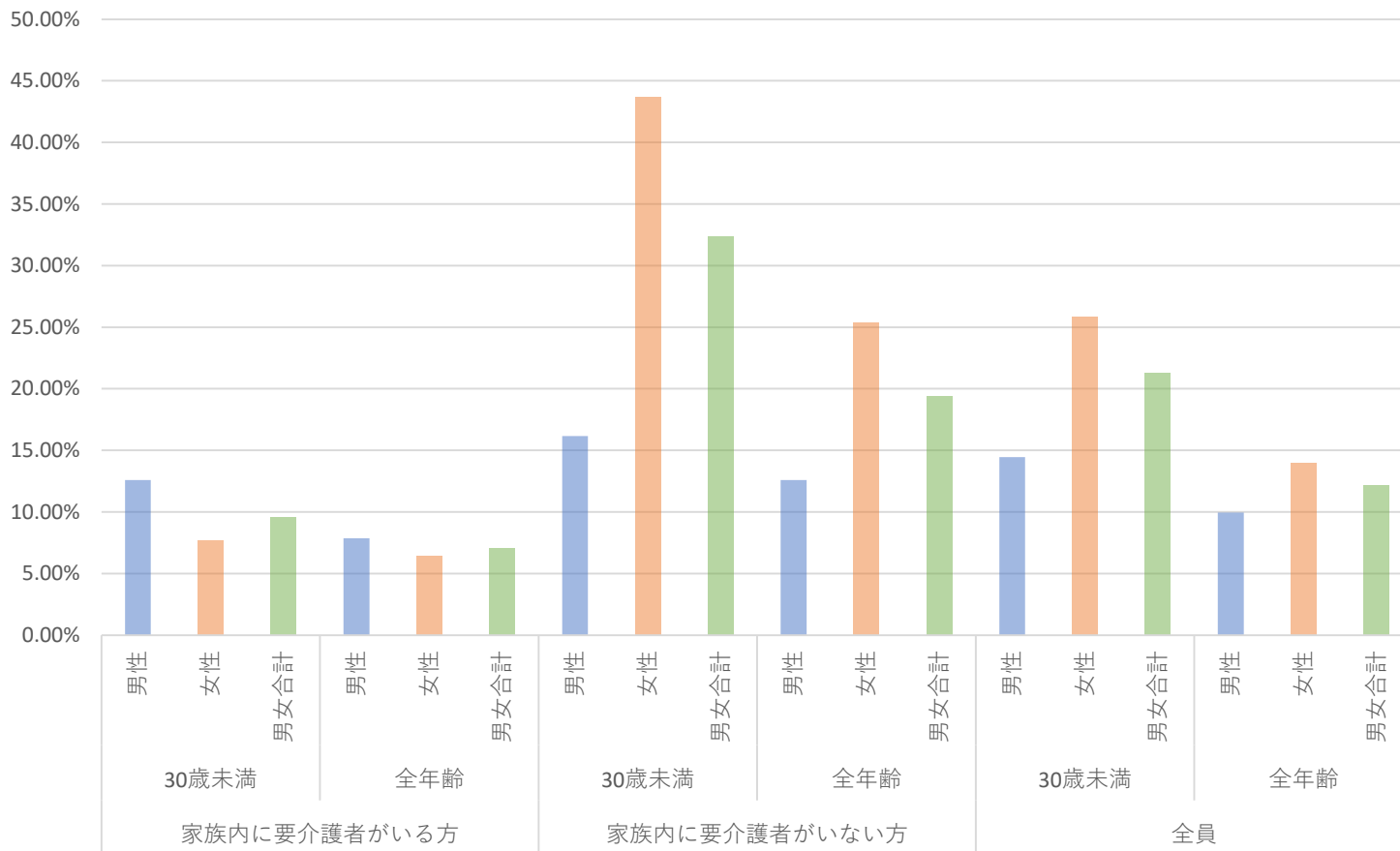
この表から見えてくることとして、多くの方は介護・福祉の仕事において「やりがい」「社会的意義」「自己の成長性」については、決してネガティブな印象を持たれていないことが挙げられます。

逆に、他に比べ突出して介護・福祉の仕事についてネガティブに感じていることは「将来への不安」であることが浮き彫りになっています。その「不安」については、回答者の「声」の一例を、以降のページにもまとめさせていただきましたが今後、介護・福祉の仕事に対するネガティブイメージの払しょくの取り組みについては「将来性」に重点をおいた訴求をしていくべきではないかと思われま。

介護・福祉の仕事へのイメージ / 回答者数

介護・福祉の仕事へのイメージ (ネガティブな印象)		やりがいがない仕事		意義が認められていない仕事		自分自身が成長できない仕事		将来に不安がある仕事	
		動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)
男性 30歳未満	1870	37	34	15	15	78	65	1118	1079
女性 30歳未満	2756	71	40	22	16	121	68	1455	1348
男性 全年齢	7554	183	145	46	49	287	231	4619	4444
女性 全年齢	9318	181	119	42	34	294	189	5247	4919
家族内介護者いる	7885	125	84	18	15	180	135	4601	4405
家族内介護者いない	8987	239	180	70	68	401	285	5265	4958
男女合計 30歳未満	4626	108	74	37	31	199	133	2573	2427
男女合計 全年齢	16872	364	264	88	83	581	420	9866	9363

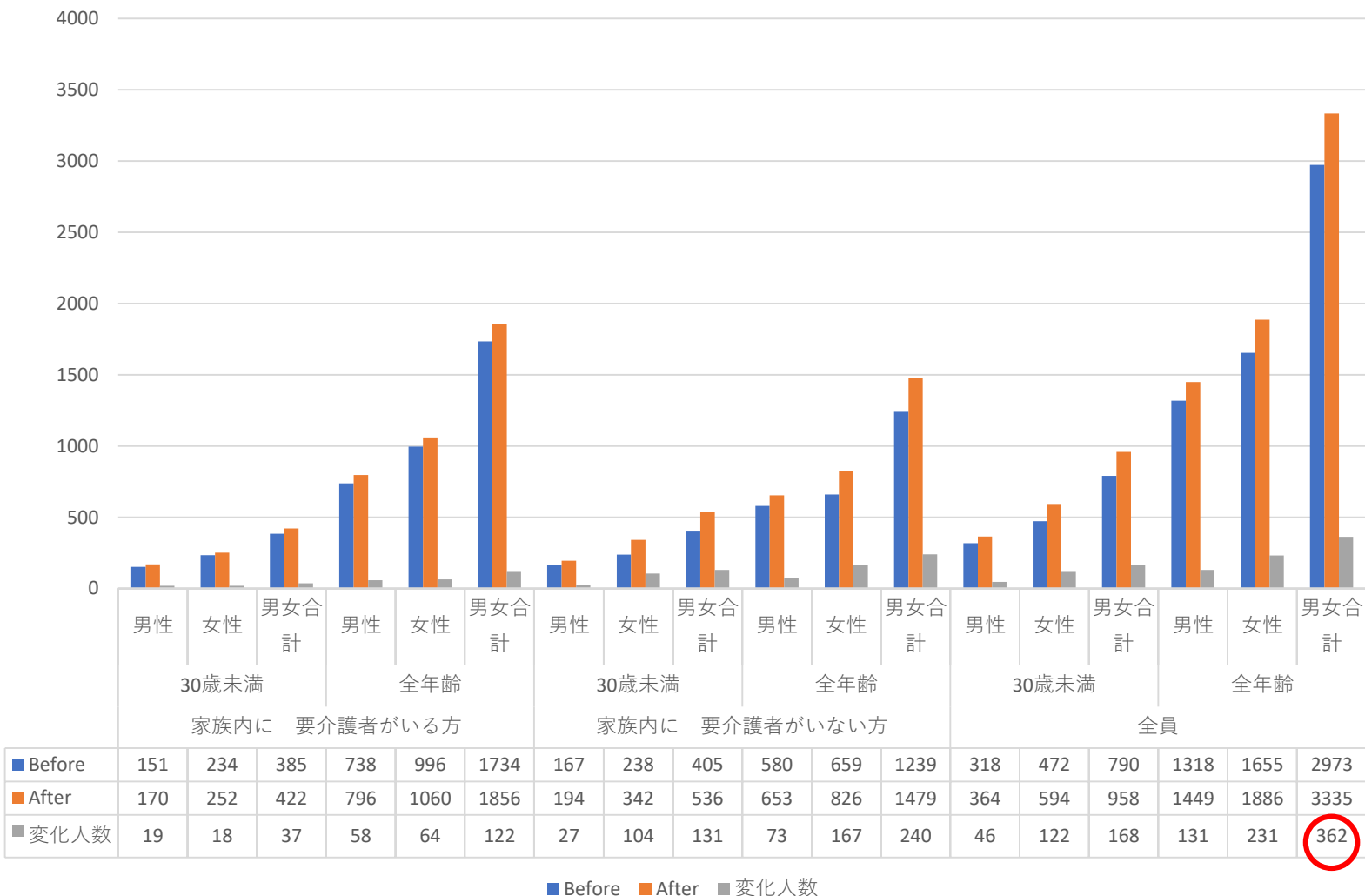
動画・番組の視聴による
介護・福祉の仕事への就労意識の改善
(「介護・福祉の仕事へ就いてみたい」と答えた方の上昇比率)



全体を通して約10%の就労意識の上昇につながっている。
とくに30歳未満の女性の改善率は高い傾向があった。

比率は次ページに記載の回答者数について「家族内に要介護者がいる 30歳未満 男性」など、個別対象ごとに
意識に変化のあった人数 / 事前回答者数 で算出。

動画・番組の視聴による
介護・福祉の仕事への就労意識の改善
(「介護・福祉の仕事へ就いてみたい」と回答した人数の変化)



【考察】今後の介護・福祉の仕事への就労者の獲得・就労意識の向上について

介護・福祉の仕事への就労意識		現在、介護・福祉に関する仕事に就いている		就いてみたい		就きたくない		わからない	
		動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)	動画 番組視聴前 (Before)	動画 番組視聴後 (After)
男性 30歳未満	1870	1.98%	2.94%	17.01%	19.47%	60.70%	58.93%	20.32%	18.66%
女性 30歳未満	2756	4.86%	6.64%	17.13%	21.55%	56.28%	50.87%	21.73%	20.94%
男性 全年齢	7554	2.41%	2.53%	17.45%	19.18%	61.04%	59.35%	19.10%	18.94%
女性 全年齢	9318	4.37%	5.09%	17.76%	20.24%	58.11%	53.86%	19.76%	20.81%
家族内介護者いる	7885	4.17%	4.11%	21.99%	23.54%	56.46%	54.17%	17.37%	18.19%
家族内介護者いない	8987	2.89%	3.79%	13.79%	16.46%	62.02%	58.21%	21.30%	21.54%
男女合計 30歳未満	4626	3.70%	5.14%	17.08%	20.71%	58.06%	54.13%	21.16%	20.02%
男女合計 全年齢	16872	3.49%	3.94%	17.62%	19.77%	59.42%	56.32%	19.46%	19.97%

前ページの結果のように今回の施策により、介護・福祉の仕事への就労意識については改善が得られたとはいえ、就いてみたい、わからないという方が各約20%、就きたくないという方が約60%という構成比率を大きく変えることはできませんでした。

30歳未満の男性や、ご家族に要介護者のいる30歳未満の女性が

今回の施策を通じ「介護・福祉の仕事に就いてみたい」という意識変容を持ってくださったことは大きな収穫といえます。

その方々を含め、今回の施策を通じ就労に対する意識変容を持ってくださった方の人数は362名にも上ります。

今回はアンケートのみのコミュニケーションでしたが、今後こうした方々に対し、「介護魅力発信プロジェクト」の他施策と連携し、実際の就労への道筋をつけてあげることができれば、介護・福祉の仕事への就労人口の拡大につながらるのではないかと思います。

また、大きく意識変容を得た30歳未満の方々に対し、P55の考察にも記させていただいた「将来性」を伝える訴求を継続することは、就労意識を持つ方の裾野を広げることに貢献できると思われれます。

介護・福祉の仕事への就労意識 / 回答者数

介護・福祉の仕事への 就労意識		現在、介護・福祉に関する 仕事に就いている		就いてみたい		就きたくない		わからない	
		動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画	動画
		番組視聴前	番組視聴後	番組視聴前	番組視聴後	番組視聴前	番組視聴後	番組視聴前	番組視聴後
		(Before)	(After)	(Before)	(After)	(Before)	(After)	(Before)	(After)
男性 30歳未満	1870	37	55	318	364	1135	1102	380	349
女性 30歳未満	2756	134	183	472	594	1551	1402	599	577
男性 全年齢	7554	182	191	1318	1449	4611	4483	1443	1431
女性 全年齢	9318	407	474	1655	1886	5415	5019	1841	1939
家族内介護者いる	7885	329	324	1734	1856	4452	4271	1370	1434
家族内介護者いない	8987	260	341	1239	1479	5574	5231	1914	1936
男女合計 30歳未満	4626	171	238	790	958	2686	2504	979	926
男女合計 全年齢	16872	589	665	2973	3335	10026	9502	3284	3370

動画・番組視聴後の
介護・福祉の仕事に対する
ご意見・ご感想

動画視聴者数

全数			番組動画			学生提案動画			
			1回目	2回目	3回目	A	B	C	D
			にっぽんのおしゃれをかえる！	にっぽんの介護施設をかえる！	にっぽんの介護現場をかえる！	千葉県立松戸向陽高等学校福祉教養科	神奈川県立津久井高等学校福祉科	日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉士科	帯広大谷短期大学社会福祉科介護福祉専攻
家族内に要介護者がいる方	30歳未満	男性	370	390	9	177	147	139	144
		女性	477	446	16	329	270	197	202
		男女合計	847	836	25	506	417	336	346
	全年齢	男性	1471	1461	54	974	730	646	626
		女性	1795	1593	100	1364	1097	805	824
		男女合計	3266	3054	154	2338	1827	1451	1450
家族内に要介護者がいない方	30歳未満	男性	449	369	19	306	187	172	152
		女性	577	443	36	611	338	269	292
		男女合計	1026	812	55	917	525	441	444
	全年齢	男性	1686	1468	58	1178	753	725	708
		女性	1886	1607	106	1645	991	846	894
		男女合計	3572	3075	164	2823	1744	1571	1602
全員	30歳未満	男性	819	759	28	483	334	311	296
		女性	1054	889	52	940	608	466	494
		男女合計	1873	1648	80	1423	942	777	790
	全年齢	男性	3157	2929	112	2152	1483	1371	1334
		女性	3681	3200	206	3009	2088	1651	1718
		男女合計	6838	6129	318	5161	3571	3022	3052

動画視聴者数

学生のみ			番組動画			学生提案動画			
			1回目	2回目	3回目	A	B	C	D
			にっぽんのおしゃれをかえる！	にっぽんの介護施設をかえる！	にっぽんの介護現場をかえる！	千葉県立松戸向陽高等学校福祉教養科	神奈川県立津久井高等学校福祉科	日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉士科	帯広大谷短期大学社会福祉科介護福祉専攻
家族内に要介護者がいる方	30歳未満	男性	7	4	4	21	12	7	6
		女性	7	2	0	28	14	10	7
		男女合計	14	6	4	49	26	17	13
	全年齢	男性	8	5	4	22	13	7	6
		女性	13	6	2	33	18	14	11
		男女合計	21	11	6	55	31	21	17
家族内に要介護者がいない方	30歳未満	男性	14	6	7	67	17	8	12
		女性	18	8	3	69	34	23	25
		男女合計	32	14	10	136	51	31	37
	全年齢	男性	14	6	7	67	17	8	12
		女性	19	9	4	70	35	24	26
		男女合計	33	15	11	137	52	32	38
全員	30歳未満	男性	21	10	11	88	29	15	18
		女性	25	10	3	97	48	33	32
		男女合計	46	20	14	185	77	48	50
	全年齢	男性	22	11	11	89	30	15	18
		女性	32	15	6	103	53	38	37
		男女合計	54	26	17	192	83	53	55

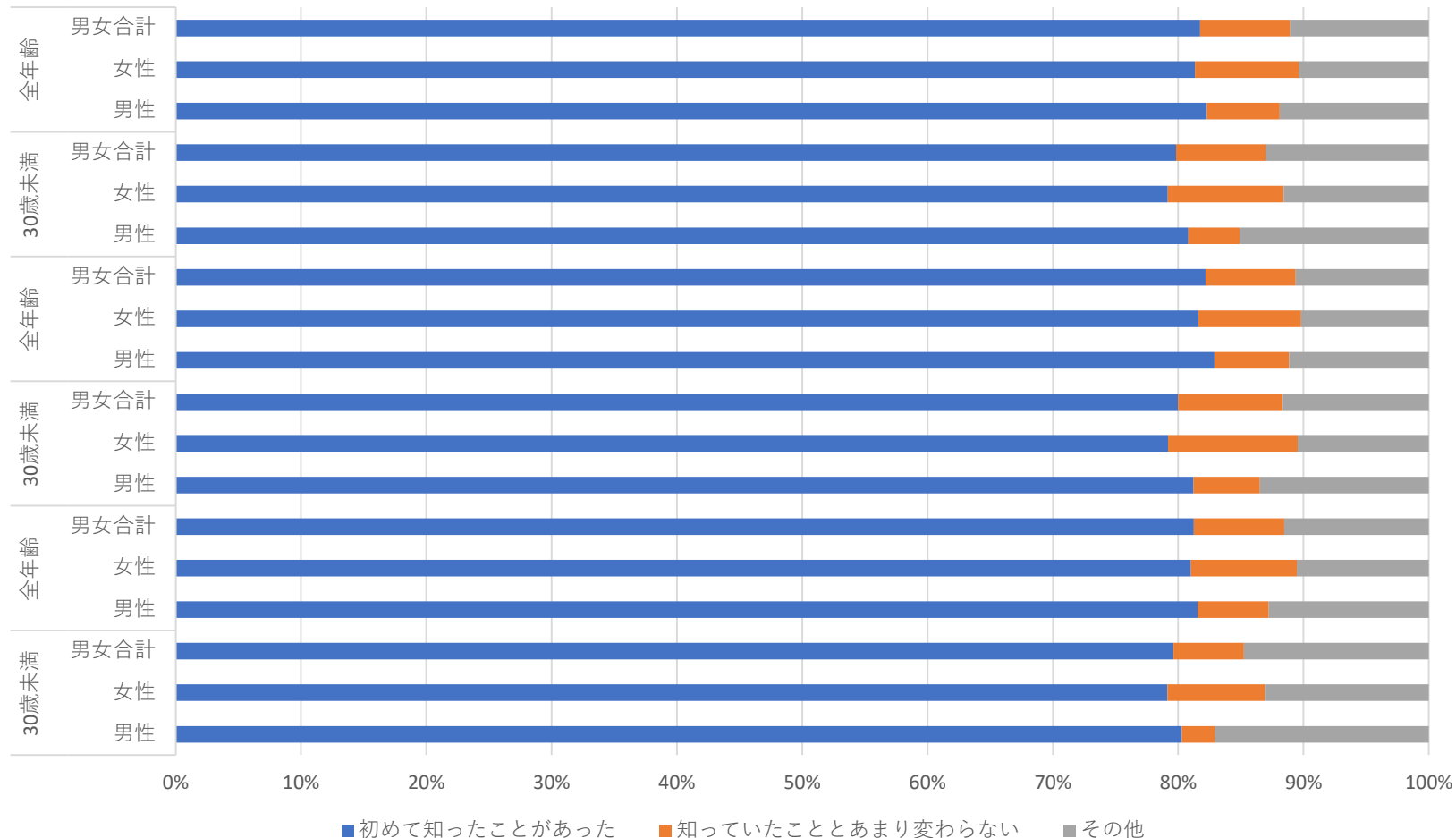
動画視聴者数

介護・福祉の仕事への従事者のみ			番組動画			学生提案動画			
			1回目	2回目	3回目	A	B	C	D
			にっぽんのおしゃれをかえる！	にっぽんの介護施設をかえる！	にっぽんの介護現場をかえる！	千葉県立松戸向陽高等学校福祉教養科	神奈川県立津久井高等学校福祉科	日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉士科	帯広大谷短期大学社会福祉科介護福祉専攻
家族内に要介護者がいる方	30歳未満	男性	3	2	0	10	5	3	3
		女性	26	11	4	30	25	13	17
		男女合計	29	13	4	40	30	16	20
	全年齢	男性	17	21	7	41	18	13	14
		女性	97	56	22	90	58	42	47
		男女合計	114	77	29	131	76	55	61
家族内に要介護者がいない方	30歳未満	男性	4	5	1	20	10	8	3
		女性	24	11	4	60	31	18	24
		男女合計	28	16	5	80	41	26	27
	全年齢	男性	19	8	2	56	23	21	11
		女性	54	30	12	118	54	48	41
		男女合計	73	38	14	174	77	69	52
全員	30歳未満	男性	7	7	1	30	15	11	6
		女性	50	22	8	90	56	31	41
		男女合計	57	29	9	120	71	42	47
	全年齢	男性	36	29	9	97	41	34	25
		女性	151	86	34	208	112	90	88
		男女合計	187	115	43	305	153	124	113

動画視聴者数

介護・福祉の仕事への従事者以外の方			番組動画			学生提案動画			
			1回目	2回目	3回目	A	B	C	D
			にっぽんのおしゃれをかえる！	にっぽんの介護施設をかえる！	にっぽんの介護現場をかえる！	千葉県立松戸向陽高等学校福祉教養科	神奈川県立津久井高等学校福祉科	日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉士科	帯広大谷短期大学社会福祉科介護福祉専攻
家族内に要介護者がいる方	30歳未満	男性	367	388	9	167	142	136	141
		女性	451	435	12	299	245	184	185
		男女合計	818	823	21	466	387	320	326
	全年齢	男性	1454	1440	47	933	712	633	612
		女性	1698	1537	78	1274	1039	763	777
		男女合計	3152	2977	125	2207	1751	1396	1389
家族内に要介護者がいない方	30歳未満	男性	445	364	18	286	177	164	149
		女性	553	432	32	551	307	251	268
		男女合計	998	796	50	837	484	415	417
	全年齢	男性	1667	1460	56	1122	730	704	697
		女性	1832	1577	94	1527	937	798	853
		男女合計	3499	3037	150	2649	1667	1502	1550
全員	30歳未満	男性	812	752	27	453	319	300	290
		女性	1004	867	44	850	552	435	453
		男女合計	1816	1619	71	1303	871	735	743
	全年齢	男性	3121	2900	103	2055	1442	1337	1309
		女性	3530	3114	172	2801	1976	1561	1630
		男女合計	6651	6014	275	4856	3418	2898	2939

動画・番組の視聴による 介護・福祉の仕事や 取組みの多様性への気づき



動画・番組の視聴のより、介護・福祉の仕事や取組みの多様性についての新たな気づきを全体で80%以上の方に与えることができた。

動画・番組視聴前後の 同一回答者からのコメント

現在、介護・福祉に関する仕事に就いている方

性別	年齢	視聴前	視聴後
男性	30歳未満	困っている高齢者を助けたくて介護福祉士になりました。高齢者をケアするのは好きだが、働きたいと思える介護施設に今まで出会ったことがない。介護は好きだが介護施設は嫌い。わがままな事かもしれないが色々難しい。	あおいけあさんの様な明るく素敵な職場もあるが、そうではない閉ざされた施設がほとんどなので、遠い国の夢の話を聞いているに感じた。
男性	30歳以上	必要な人材が充足していれば、大変な仕事ではないと思います。ネガティブなイメージが多すぎます。	自分の事業所でも同じようなことができたらと思います。
女性	30歳未満	「やりがいがある」仕事と言われるが実際はなかなか利用者と話せないことや、それが本当に利用者のためなのか現場に出るとなかなか難しい。それが3Kと言われる原因なのかもしれないと思うがそのイメージを無くして行けるような活動や情報発信をすることも介護、福祉の仕事だと思う。	介護という分野で働く将来を目指している高校生、専門学生、大学生が年代が近いのに、考え方や伝え方がまるで違って、個性がありたくさんのプレゼンの仕方があって介護というものが近くに感じました。この考えがもっと広がるといいと思いました
女性	30歳未満	若者向け信頼度が低い。ドラマをしてほしい！	同じ気持ちになる
女性	30歳未満	これから益々高齢化が進んでいくので介護士が沢山必要な職業だと思う。大変なことはあるかも知れないけど、色々な利用者さんとコミュニケーションを取ったりして楽しくできると思う。	介護・福祉に対するイメージを変えていきたいと思う。
女性	30歳未満	やりがいよりも問題の方があまりにも多く、そのため心地よく働く環境としては遠いものがあります。マンパワーも圧倒的に足りません。	もっと私達も楽しんで、高齢者から助けて貰う関係で仕事してみるといいのかなと思った。
女性	30歳未満	介護、福祉の仕事について大事に必要な仕事であると認知してあるがそのわりには手当てなどが不足していると感じる。もっと介護、福祉の仕事の大変さも理解してほしい。	外国人との交流に関しては私自身経験がないことであり興味をひかれた。
女性	30歳未満	介護の仕事を通じて、自分自身成長できたと思います。コミュニケーションのとり方など。今は育児休暇でお休みしていますが、子供できて仕事でしていたオムツ交換など役立ちました。	介護の仕事にら対するイメージが良くないので、もっといいイメージになってほしい。
女性	30歳未満	介護や福祉を必要とする方々からも人生観や生きてきた歴史なども学べるし私の人生を見つめるきっかけになったりもする素敵な職業だと思う	もっとやりたいと思う人が増えたらいいなと思う！ そのために魅力を伝え続けたいと思う

動画・番組視聴前後の 同一回答者からのコメント

現在、介護・福祉に関する仕事に就いている方

性別	年齢	視聴前	視聴後
女性	30歳未満	私は介護の仕事をしています。介護は偏見に見られる可能性があり、知り合いに介護の仕事をしていることをなかなか打ち明けられずにいます。高齢化社会で今後ますます介護で多くの人が必要とされる時代になっていくため、「介護」が世の中の人々にとって、より身近になっていくといいなと思っています。	介護を題材にしたドラマが放送されれば世の中のイメージも変わりそうだと共感しました。 実際に遠くに行けない際もVRを活用するとよりリアルに体験でき、可能性が広がると思いました。 あおいけあはいつか行きたいと思いました。料理で包丁を持つ・門がない等は危険が伴い、今の人手不足の中では難しいですが、日本中の介護施設があおいけあのようになったら理想的だと思いました。
女性	30歳未満	私は介護福祉士を目指しています。介護福祉士は高齢者の方が今を生きるのにとっても大切な仕事です。汚いとか臭いとか悪いイメージが世間には出回っていますが、やりがいしかない仕事だと思っています。高齢者のかたの生活支援をすることで自分自身が成長させられます。そんなお仕事です	福祉の仕事は人を幸福にする仕事です
女性	30歳未満	体力的にもキツイ仕事です。もう少し介護職の方のお給料あげて欲しいです。	介護に関わったことのない方にわかりやすく仕事内容を説明するのは難しいと思うがやりがいのあるところを積極的に伝えることは大事だと思う。また少しでもマイナスなイメージを減らせたらいと思う。
女性	30歳未満	幼稚園の先生と共通する部分があると思うので、もう少し身近に感じてもらえる部分があると思います。また認知症を恥ずかしいことだと感じている人がまだまだたくさんいて、一人で介護をしている人がいる現実を改善していきたいです。	VRやアロマは以前職場で提案しましたが、コストや誰がそれに付き添うか等で却下されてしまいました。現在はVRを一人一人に用意する予算もないでしょうし、使い回すのは感染リスクや皮膚剥離や実際に動いたり歩いてしまうなど怪我のリスクあるため簡単には取り入れられない葛藤があるなー。と改めて思います。 以前はこれをしたら利用者様は嬉しいかもしれない少しでも楽しめるかもしれないと思っていたことを思い出しました
女性	30歳以上	やりがいがある仕事ではありますが、働き手が自己犠牲をはらっている部分が多少なりともある職種だと思っています。人の命を預かる仕事でもあるため、収入面でももう少し上がるともっともっと働き手が増えるのではないかと思います	介護や福祉に対して、世間の印象はネガティブなものが多いと私自身も感じているので、子供のうちから正しい知識を持てるような教育が必要だと感じました。
女性	30歳以上	学生時代に実習で福祉施設に行った際に、福祉で働く人は尊敬に値すると思い、また自分には出来ないことだと思っていました。最近になって高齢者施設で働くようになり、職種によっては出きるかも？と自分の意識は変わってきたものの、世間一般の感覚では、他に働くところが無い時の介護職…というイメージが強いのではないかと思います。また、人手不足は慢性的で職員の待遇も中々改善されていません。有休も使いにくい状況です。	番組では理想的な施設の在り方をお話されていましたが、現実の職場では実現は難しいです。なぜなら方針を決めるのは施設長や幹部職員の方なので、下端職員が言うことなんて聞いてもらえません。番組に参加されていた「あおいけあ」さんのような所で働いてみたいです。
女性	30歳以上	看護師です。向き不向きはありますが老年期看護は楽しい仕事だと思っています。	最近高校生でもこんなに認識が進んでいるんだなと思いました
女性	30歳以上	仕事内容、体力、人手不足など大変な事ばかりです。ですが、利用者様の笑顔に勝るものはありません。	介護、福祉関係の仕事は経験したことがない人には大変、辛いなどネガティブな印象だと思います。ですが、必ず必要とされる仕事だと私は思います。必ず誰かの為になる仕事です。

動画・番組視聴前後の 同一回答者からのコメント

介護・福祉に就いてみたいと回答された方

性別	年齢	視聴前	視聴後
男性	30歳以上	大変な仕事だと思いますが、これからますます人材が必要な仕事だと思います。若い世代の人にもっとついてほしいと思います。	なくてはならない大切な仕事だと思う。従事されている方にもっと待遇をよくしてほしい。
女性	30歳未満	ロボットだと絶対嫌だなと思う。やっぱり人がいいです	やりたいなと思いました
女性	30歳未満	介護の素晴らしさを知り、また、上条さんの講演やテレビを聞き夢ができ、4月から介護福祉士として特養で働きます！	上条さんのInstagramから情報を知り、日本の要を第1期から見ていて、毎度、固定観念を作らずに高齢者とともに皆で生きていくという素晴らしい考え方に心動かされています。私も就職したらこのような介護福祉を目指していきます。次回も楽しみにしています！
女性	30歳未満	高齢化が進む一方で介護士の数が足りないのは事実。仕事のイメージとしては汚い、やりたくないという理由が多いと思う。私もそのうちの1人だった。しかし将来、自分がお世話になるかもしれないと考えたと不安でしかない。そう考えると介護士はとてもやりがいのある仕事だと思う。なので現場で働く人たちの声にもっと耳を傾けた方がいいと思う。	将来的に必要な仕事だと思った。
女性	30歳未満	私の身近には、介護を必要としている人がいます。作業療法士さんをはじめ沢山の方々のサポートを経て日々生活を送っています。そんな方々を見て、私も将来このようなサポートが出来たらいいなと、今福祉の勉強をしています。やりがいは一人一人の成長が見られたり、個性が開花した際に感じるのではないかなと側から見て感じています。実際に働いた事で得る知識も沢山あると思うので、吸収できるように頑張りたいと思います。	身近に介護・福祉を必要としている人がいるので、その人を支える周りの大変さを理解しているつもりです。しかし、就いてみないと分からない大変さは計り知れない程あると感じました。その大変さがやりがいに感じた瞬間が、この仕事の楽しさを知れた証拠だと思うので、私もこの職業に就いてみたいと改めて強く思いました。
女性	30歳以上	介護のお仕事大好きな介護福祉士です！ 介護のお仕事から人生で大切な事をたくさん教えていただいています。人生経験豊富なお年寄りの方と接すると癒されます。楽しいです。 認知症高齢者が働く食堂が愛知県岡崎市にあります。認知症とか高齢者とかのイメージが明るくなると思いますのでぜひ取材をお願い致します！！	靴を作られている方の番組を拝見し、直接だけではなく、間接的な面からでもサポートできて、その人に寄り添い人生をhappyに出来る事を学びました！

動画・番組視聴前後の 同一回答者からのコメント

介護・福祉に就きたくないと回答された方

性別	年齢	視聴前	視聴後
男性	30歳未満	人と人が真っ直ぐに向き合う仕事なので、想像以上に負担が大きいものだと思う。	介護は目の前にある人だけでなく、社会全体をも変えられるやりがいのある仕事のように感じた
男性	30歳以上	介護・福祉の現場で働く人は大変な思いをされているかと思いますが、それに収入が見合っていないと感じています。これからの高齢化社会に対して必要な仕事であるので、国の補助なりの制度を整備する事と、例えば働き手として外国人労働者等をしっかり教育し従事させる仕組みを作らないとなかなか厳しい現状があると考えています。	今以上の高齢化社会は間違いなくすぐそこに迫っている現状がある中で、労働環境や待遇の向上等が切に求められている感じがします。そこを改善していかないと介護・福祉の仕事への就労人口が増えることはないのではないのでしょうか。
男性	30歳以上	仕事量=リスク に対して報酬の少ない職業	給料が安いのが一番の問題
男性	30歳以上	処遇が悪すぎる	人の命と向き合う非常にやりがいのある仕事と思う。ただ、ボランティアではなくプロとして携わるには仕事の内容、責任の重さに比べて圧倒的に報酬が低いのが社会的問題。運営側も国も十分な報酬を支払って、かつ赤字経営を実現しようとする姿勢が足りないと思う。どこか諦めてる感じがします。介護保険制度、年金制度の見直し、尊厳死の容認等、見直すべき事が沢山あります。
女性	30歳未満	1日中その人の生活の手助けをするということはとても大変な仕事であり、私も学生の時にボランティア活動を福祉施設でしたことがあったが、5時間と短い時間だったがやることが多く、体を張る仕事もありとても大変だった思い出がある。しかし、大変だがおばあちゃん達とお話をしたり普段話せない世代の人たちとの交流はとても楽しかった。大変な仕事であることには間違いはないが、その人達の笑顔を自分が1番に実感できると思う。	介護のイメージ改善についての動画で、介護を大変だと思うかという質問に対して大変だと思うに多くの票が集まるほど誰もが大変という共通認識がある仕事だと改めて思いました。私も大変だと思う一人であり、自分はできないと思いました。なぜなら、動画の意見にもあったが人を助ける、命を預かるという責任の重さとそれに伴う体力と技術がものすごく必要だからです。でも介護という仕事に悪いイメージはないです。
女性	30歳以上	以前アルバイト先で、介護福祉士としてお仕事をされていた50代の方と出会いました。お給料がよくても、年を取ると体が仕事についていけない・介護の現場はしんどいよ、というお話を聞いたので、私にはきつと無理だなと感じています。	介護・福祉の現場で働く友人から、この仕事がいかに大変かをよく聞いています。学生の皆さん、今現在働いている皆さんがよりよい環境で働けるように、法整備や条例づくりなど、何かできることがあるはずだと思います。しかし現場を知らない私が何を言えばいいのだろう、と疑問に思います。
女性	30歳以上	給料も安く、サポートがない、常に人手不足	介護される人間だけでなく、介護職員のメンタルケア?給与?待遇?人員確保?ロボット介助が必要だと考えます
女性	30歳以上	仕事内容はとても大変にも関わらず薄給なイメージ。	やはり介護はイメージが悪く、実際イメージだけではなく仕事量の割に薄給など根本的に改善していかねば就職したいという人は絶対に増えないと思う。

動画・番組視聴前後の 同一回答者からのコメント

介護・福祉に関する仕事に就くことに対し、わからないと回答された方

性別	年齢	視聴前	視聴後
男性	30歳未満	必要で人の為になる仕事だが、保証面で弱い部分があり、大変な仕事であると感じる。	年齢が若い学生たちは真剣に日本の未来を考えていると感じた。番組でも未来に繋げるための努力をととも感じた。
男性	30歳未満	介護や福祉の従事者の皆様をととも応援しています。	ロボットやAIが開発されると、やはり将来的には仕事が少なくなるのかなと思った
男性	30歳以上	今後の高齢化を考えれば、介護福祉の仕事需要は増大していくであろう。ケガによる介護は、家族にとっても突然に訪れたりします。健康であることに感謝を忘れてはなりません。	志や強い思いがないと出来ない仕事なような先入観を持っていたが、今後の高齢化を考えた時に高校生がこのように考えているのは素晴らしいと感じた。ドラマの制作＋放映は楽しみです。どんな仕事も明と暗があると思うので、良いところだけでなく、上手に両方を伝えられたらイイですね！
男性	30歳以上	想い…だけでは生きていけない。本当に大変な仕事なので、やりがいをたてに自己犠牲的な労働を強いるような就労環境と対価ではなり手は減るばかりだと思ふ。	仕事そのものについての理解や意義、多様性などには触れられていましたが、そこに付随する労働条件や報酬、福利厚生などにも触れないと真の介護・福祉の仕事について考える…とまでは言えないような気がします。
女性	30歳未満	どうしても仕事量に対して給料が低いという印象が拭えない。	人の命を預かる仕事であるのだなと思った。同時に、医学系の仕事等と比べて、大変であるのに給料が低いのはやるせないとも感じた。
女性	30歳未満	介護福祉の仕事に興味をもって考えたことがなかった。今は介護が必要な人が身近にいないが、これからのためにニュースなどから情報を、仕入れるのも大切かも知れないと思った。	ドラマなどで取り上げられたとしてもやはり身近に感じるのは難しいことだと思った。
女性	30歳未満	少子高齢化が進む今の世の中で、介護福祉の仕事はますます必要になってくると思います。実際に私の祖母も介護が必要な状態で、施設で補助を受けています。優しいスタッフさんに笑顔を見せる祖母を見ると胸が熱くなります。介護福祉は大変なイメージはありますが、それ以上にやりがいのある仕事だと思います。これからもっと介護福祉の仕事に興味を持つ若者が増えていったらいいなと思います。	介護の仕事は高齢化が進む今後の日本において、より必要性の高いものになっていくと思います。求められる仕事だからこそ、やりがいのある仕事だと思うし、私も動画を見て興味を持ちました。多くの人が生きやすい世の中にしていくためにも、これからもっと介護・福祉に関心を持つ大人が増えてほしいと思いました。
女性	30歳未満	少子高齢社会になっていて、介護が必要な人もだんだん増えてきてそれが当たり前になってしまうかもしれないので介護・福祉の仕事は重要だと思う。	施設ごとにフェンスなどのしきりが無いと言うのは開放的だし、新鮮だと思った。実際日本は少子高齢化社会であるが、中々プラスの方向で考えている人は少ないと思うのでこれをきに、考え方やイメージが変われば良いと思った。
女性	30歳未満	誰しものが将来介護福祉が必要となる可能性が高いので、働きながら自分の将来の事も考えれるのは大きい収穫だと思います。	命の重さがすぐわかる動画だなと思いました。なかなか介護にふれない若者もいると思うので、人気のティモンディさん、石川恋さん、要潤さんなどを起用したのは若者が介護にふれる第一歩となり、これを機に意識が変わるのではないのかなと思いました。私自身も勉強になる事がたくさんで介護福祉の仕事に興味を持ちました。

動画・番組視聴前後の 同一回答者からのコメント

介護・福祉に関する仕事に就くことに対し、わからないと回答された方

性別	年齢	視聴前	視聴後
女性	30歳未満	必要な仕事だと思うけれど社会的地位は低いと思うので残念だと思う	海外の方と繋がることもとても大切だと思いました。
女性	30歳未満	とても重労働で精神的にも大変な仕事だと思いますが福祉を必要としている本人、家族から見たら本当に有難い存在です。	若い年代が介護と向き合っているのがとても素晴らしいと思いました。偏見もあるなかでどのように向き合っていくか考えさせられました。
女性	30歳未満	介護、福祉というと辛くてきついと思ってましたが、介護職の友人が多くやりがいもあると言っていてイメージが変わりました。近い将来介護するかもしれないと思うと、実際働いていれば知識や行動がうまくいくのかなとも思いました。	介護福祉は忙しくて大変でお給料も少ないキツイ仕事のイメージだけど、学校にも専門の福祉科などあり学生達が色々学んで自分達で考えている事に、逆に大人の自分が考えさせられました。VRなんかでも上手く使えば便利な機能だしそこを思いつくのも若い力なのかな？
女性	30歳未満	私は看護師、保健師のパートを掛け持ちしています。以前大きい病院で働いていた時も含め、在宅で過ごす要介護の片も増えており、老々介護の増えている世の中で介護、福祉の必要性は高まるばかりでとおもいます。	私は看護師なので、介護、福祉に繋がりのある仕事をしています。高齢の方は、ほとんどの方が救急病院等で手術や治療を終えた後に、リハビリ目的で地域の病院や施設にいかれます。そこでは介護、福祉の専門家達が利用者の方々のために活躍されています。とても大変な仕事だと思いますが、私達看護師同様とてもやりがいがある仕事なんだろうと思います。

動画・番組視聴後の介護・福祉の仕事に対するご意見

男性

30歳未満

性別	年齢	コメント
男性	10代	これからの日本ではとても需要の高くなっていくカテゴリーの職業になってくると思う。
男性	10代	労働と対価が釣り合っていない。
男性	20代	最初はいい印象は無かったが、動画を見て、考え直した。
男性	20代	介護は、辛いが誰かがやらねば
男性	20代	正直精神面がかなり強くないとやっていけない仕事だと思う。知り合いに何人か介護士がいるが、会社を辞めたいと言っている人が多い印象。
男性	20代	必要なことだとは思う。
男性	20代	自分のせいで被介護者の命にも関わってくるため大変な仕事だと思う
男性	20代	直接、必要な人を介護するだけでなく様々なアプローチの仕方があると気付けた。
男性	20代	番組第二回のアーカイブにもあったように、介護—非介護の境界線を失くしていく、というような、多様性志向の発想がこれからは必要になると思われます。ワタシ自身は、その部分を創り出すようにしていきます。
男性	20代	かなり難しい仕事だと思うが、必要とする人も沢山いるので大事だと思う

動画・番組視聴後の介護・福祉の仕事に対するご意見

男性

30歳以上

性別	年齢	コメント
男性	30代	介護の仕事について重要性は理解出来たが、先入観があるせいか、大変そうということが最初にきてしまう。
男性	30代	介護や福祉の勉強は必要だと思う。義務教育で必修にしても良い。
男性	30代	まず賃金を改善する必要がある。学生達も働いてみたら現実に気付くと思う。
男性	30代	理想はいいが現在入っている人のレベルが落ちて全介助になった人が多数になったときに理想をどう貫くのか、またその状況でスタッフ全員と意志を共有できるのかが気になる
男性	30代	介護福祉の仕事は社会に必要な仕事であると思う。 イメージは多くの人が思っているように大変な仕事というイメージもある。 動画を視聴して思うことは自分が介護福祉にも様々なアプローチで関わるができるということ。 介護職以外でも、様々なニーズが見えないで隠れていて、それを少しずつ実現していけば変わっていくのではないかなと思う。
男性	40代	今現在、介護の現場から介護離職しています。4月からは各自治体の施行する、新たな介護事業計画や障がい者計画の開始ですが、私は新規就労を考えている方たちへのリスクマネジメントを提案してました。理由は介護職員を擁護するためです。しかし「あおいけあ」さんの活動を拝見してハッと気付かされた思いでいます。私自身の中で『介護＝負の仕事』となっていたのでしょ。自分の中で介護が変わりそうな気がします。
男性	40代	イメージも大事だが結局の待遇の実態が変わらない限り改善しないと思う。
男性	50代	若い世代にも積極的にかかわってほしい
男性	50代	将来性の高い職業だと思います
男性	50代	労働と賃金が釣り合っていないような気がする

動画・番組視聴後の介護・福祉の仕事に対するご意見

女性

30歳未満

性別	年齢	コメント
女性	10代	たしかに先入観で判断しているなと思った。しかし、私は給料に対し責任感が重すぎるため就労意識は上がらなかった。
女性	20代	高齢化社会が進む現在、介護福祉はとても意義のある仕事だと思います。
女性	20代	超少子高齢化社会の日本では、高齢者の人口が増えるため雇用口は広がるのは分かります。実際に母が介護士として働いているので、働くやりがいや意義も聞いていました。しかし、そればかりではないとも言っています。働く環境はかなり厳しいものです。働く人の環境を改善しない限り、介護の仕事に対するイメージを変えるのは難しいと思います。実際に課題を解決して、働きやすい仕事になって欲しいです。
女性	20代	福祉の勉強をして、やりがいは感じると思うが、周りからの実習のきつさも聞いて、重労働の割には賃金が安いと思ったので微妙
女性	20代	高校生のプレゼンから、福祉に関してネガティブな印象を覆そうというイメージ改善の気持ち伝わってきました。実際に、介護の現場は力仕事など大変な印象がありました。また、自分の家族が介護の状況でない場合は、正直、身近に介護に触れるきっかけが少ないと思います。ですが、プレゼンでそんな印象を変えようと様々なアイデアを練っている部分にとっても感銘を受けました
女性	20代	私はDの動画を拝見し、現在の状況も踏まえて、とても素晴らしい提案だと思いました。私の祖母の介護が必要になった事があり、なかなか遠出できなかつたりもして、悲しい思いもしていたので、なんとか連れて行ってあげたいと思いましたが、なかなか出来ずにいました。VRを使えば臨場感のある映像で、実際にその場にいるようなリアル感が味わえて、とても刺激になり、癒しにもつながると思います。
女性	20代	介護の勉強をしてる側としてない側ではイメージが全然違うんですね。ニュースなどでとりあげられる介護職は確かにネガティブイメージが強い。目に入る情報がポジティブな表現だったら、介護の職に就きたいと思える人が増えそう。
女性	20代	介護の仕事を以前していましたが 看護師と同じように人の命を預かる仕事にも関わらず給料が少ないと思う。
女性	20代	人の命を預かる仕事なので、体力的にも精神的にも大変かと思います。今後さらに高齢化が進み、介護福祉の仕事をする人が今以上に必要になるかと思います。今のままでは介護福祉の仕事をする人の負担のみ増え、今よりもさらに介護福祉士=大変のイメージが付き、人員不足になるのではないかと思います。まずは給与をあげるなど待遇を良くすることで、少しずつ介護福祉のイメージが良くなっていくのではないかと思います。
女性	20代	高校生なのに素晴らしい考え方

動画・番組視聴後の介護・福祉の仕事に対するご意見

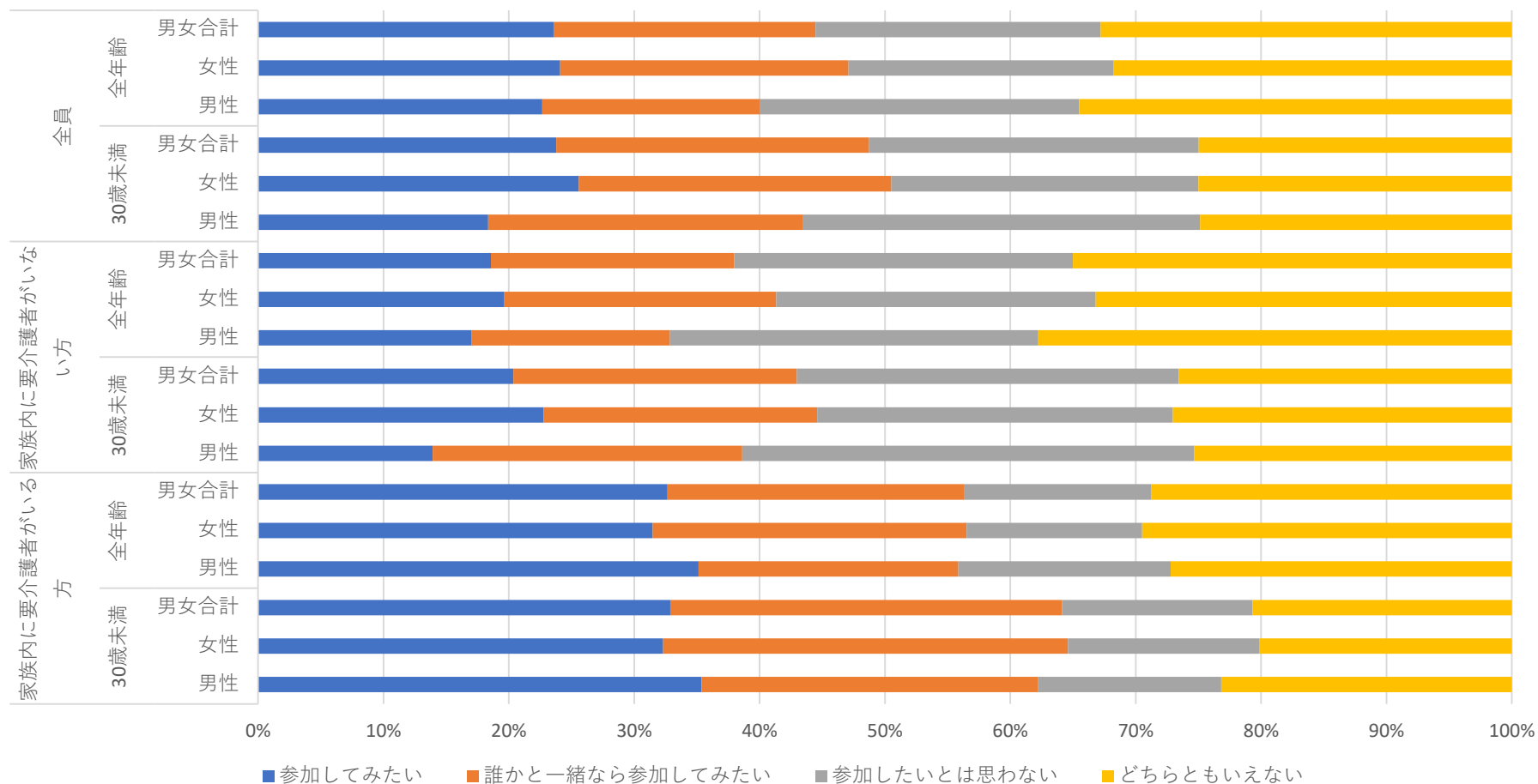
女性

30歳以上

性別	年齢	コメント
女性	30代	必ず必要な仕事であり、体力的にも精神的にもしんどい仕事なのに、お給料や社会的地位が低くされがちなイメージです。もっと認知され、長く働けるようお給料もあげてあげてほしいと勝手ながら思います。
女性	30代	介護・福祉を仕事として行う場合にはやはり「難しい」と言わざるを得ないのではないかと思う。介護・福祉への興味関心を持つきっかけとして、それを必要にする人との接触のハードルが下がるのはいいことだと感じた。
女性	30代	これから老老介護がますます進んでいくと思いますし、今は核家族も多くお年寄りとお過ごし住んでいる人も昔に比べ少ないと感じます。小学生にターゲットを絞り、キャラクターを登場させ、わかりやすく漫画にするなどとても良い案だなと感じました。私自身、祖父母と幼少期を過ごしていたため、畑仕事や田んぼ仕事、伝承遊びなど様々なことを学べたと感じております。しかし、介護福祉の仕事となると、なかなかその職に就くという考えにならないのが現実です。
女性	30代	体力・気力ともに必要な大変な仕事 高齢化社会の日本にはなくてはならない仕事 でも給料は安いというイメージ
女性	30代	意義はあるかも知れないけれど、肝心の給与面の改善(現状は、やりがい搾取状態)・介護を受ける高齢者から職員に向けられる精神的&肉体的暴力を受けた時の防御策(その家族からの物を含む)を考えていく事も大事。
女性	30代	やはり、本当に必要な仕事だと感じました。汚くて嫌だという人も多いかと思いますが、その分得られる喜びや感動は働いている人にしかわからないと思います。もっと世間から評価されるべき仕事です。そう思ってもらう為にも介護の質を上げて行く必要もあるなと感じました。
女性	40代	これからもっと成長していく業界だと思いました。ただ、お仕事をしていく人々のモチベーションを下げないように、環境作りが重要だとも思いました。
女性	40代	いろんなアイデアで、利用者様が過ごしやすくていいのがすごいなと思いました。大変な事もありますが、やりがいのある仕事だと思っています。
女性	50代	介護、福祉について色々考えさせられました
女性	50代	前年度の番組より、様々な方向から福祉についての情報が出ていて、興味深かった。

「かえる委員会」の取り組み
介護・福祉の
ワークショップへの参加意識

動画・番組視聴による 介護・福祉のワークショップへの参加意識 (全数)

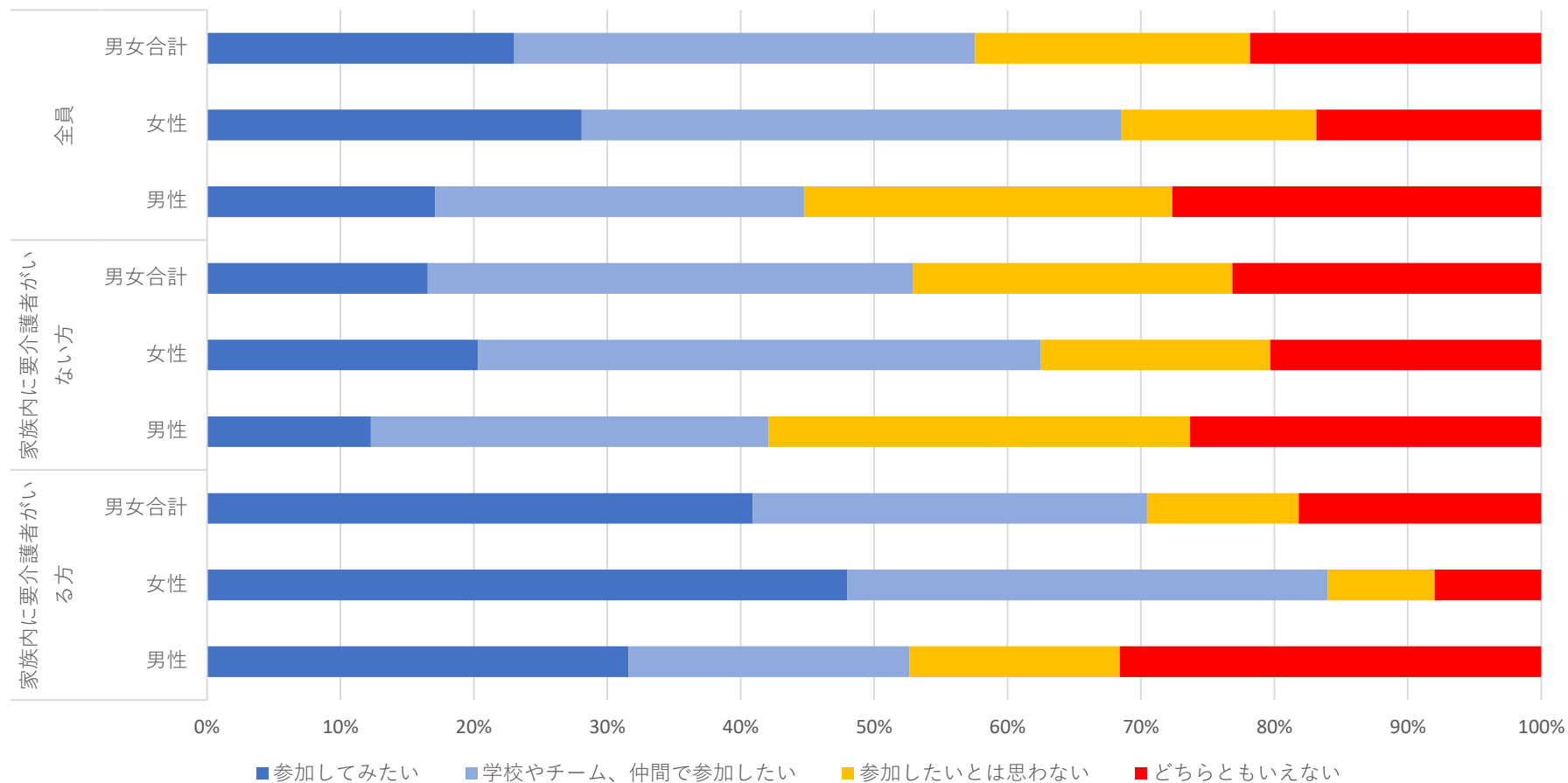


ご家庭内に要介護者がいる方の方が、ワークショップへの参加意識は高く年代・性別を問わず約1.5倍の方が参加したいという回答を得る結果となりました。

動画・番組視聴による介護・福祉のワークショップへの参加意識／回答者数

ワークショップ参加意識 全集計			参加してみたい	誰かと一緒なら参加してみたい	参加したいとは思わない	どちらともいえない
家族内に要介護者がいる方	30歳未満	男性	29	22	12	19
		女性	114	114	54	71
		男女合計	143	136	66	90
	全年齢	男性	222	131	107	172
		女性	411	327	183	385
		男女合計	633	458	290	557
家族内に要介護者がいない方	30歳未満	男性	44	78	114	80
		女性	192	184	239	228
		男女合計	236	262	353	308
	全年齢	男性	239	222	412	530
		女性	419	465	545	710
		男女合計	658	687	957	1240
全員	30歳未満	男性	73	100	126	99
		女性	306	298	293	299
		男女合計	379	398	419	398
	全年齢	男性	461	353	519	702
		女性	830	792	728	1095
		男女合計	1291	1145	1247	1797

動画・番組視聴による 介護・福祉のワークショップへの参加意識 (学生)

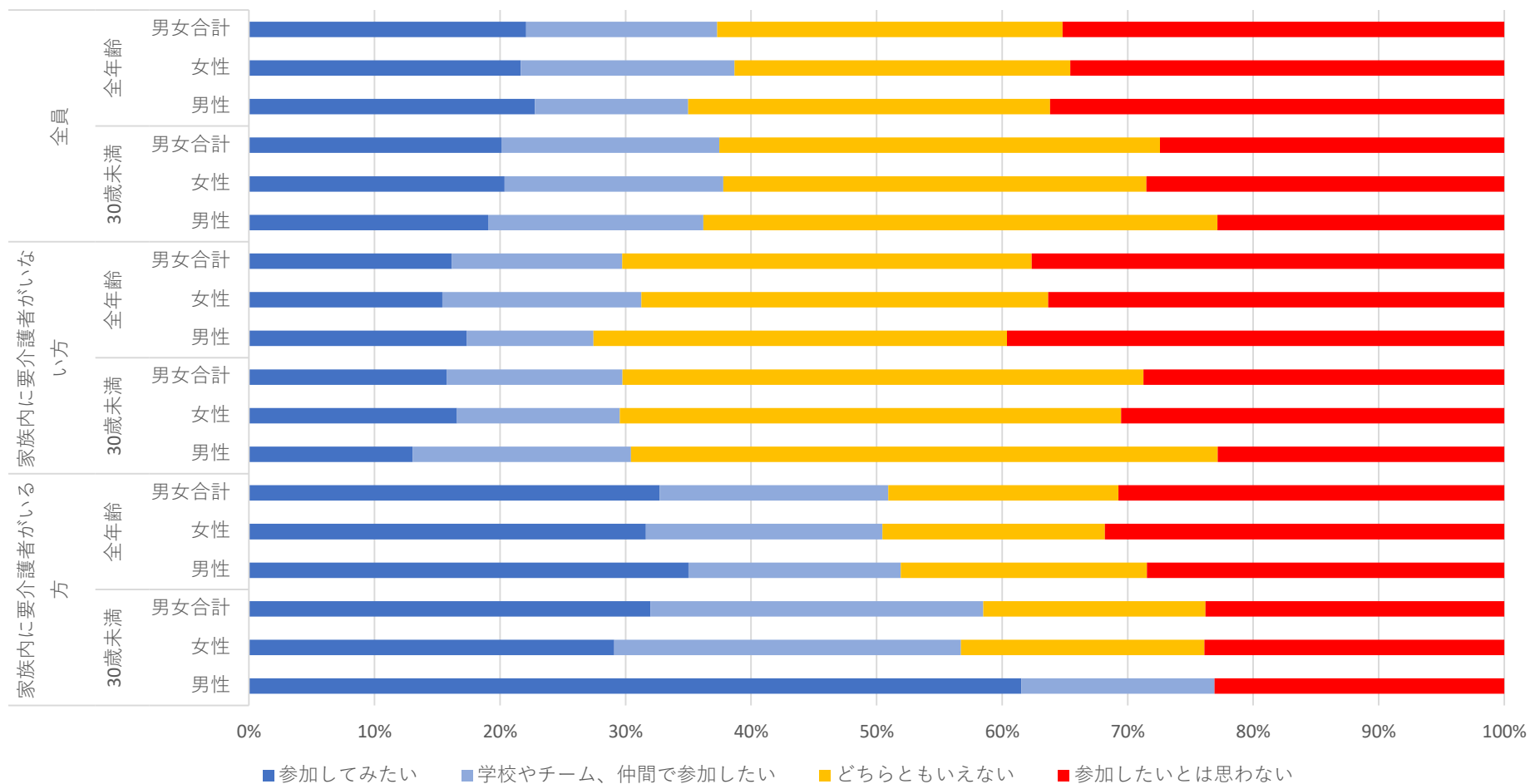


学生は全体に比較し参加意欲が高く、約60%の方から参加希望の回答があった。
参加意識は女性の方が男性に比較し高い傾向がみられた。

動画・番組視聴による介護・福祉のワークショップへの参加意識／回答者数

【ワークショップ参加意識】 学生のみ			参加してみたい	学校やチーム、 仲間で参加した い	参加したいとは 思わない	どちらともいえ ない
家族内に要介 護者がいる方	全年齢	男性	6	4	3	6
		女性	12	9	2	2
		男女合計	18	13	5	8
家族内に要介 護者がいない 方	全年齢	男性	7	17	18	15
		女性	13	27	11	13
		男女合計	20	44	29	28
全員	全年齢	男性	13	21	21	21
		女性	25	36	13	15
		男女合計	38	57	34	36

動画・番組視聴による 介護・福祉のワークショップへの参加意識 (介護・福祉の仕事への従事者)

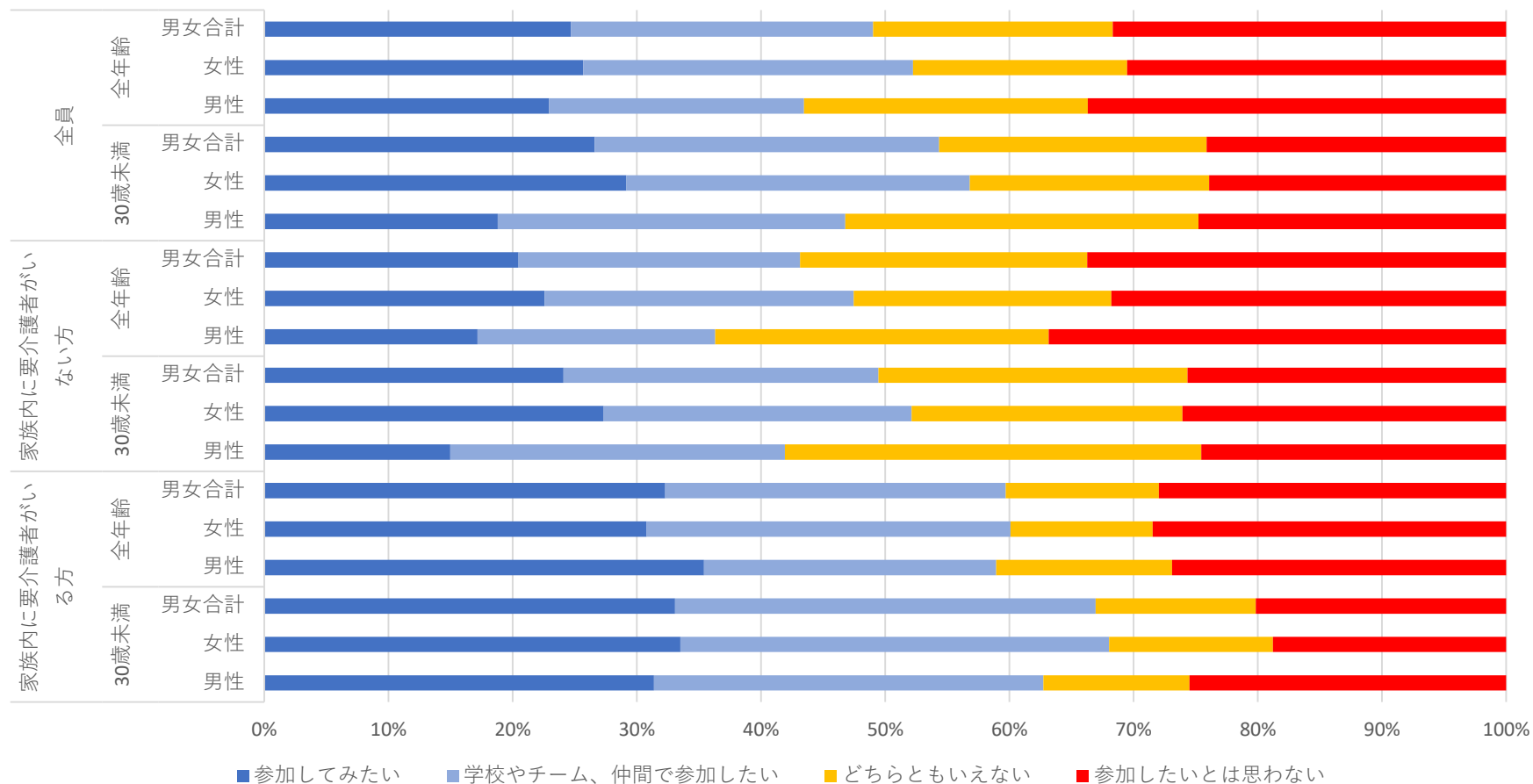


すでに介護・福祉の仕事に就かれています方からも、全体で約40%弱の方が参加希望の回答があった。中でもご家族に介護が必要な方がいる方の参加意欲が高い傾向がみられた。

動画・番組視聴による介護・福祉のワークショップへの参加意識／回答者数

【ワークショップ参加意識】 介護・福祉の仕事への従事者のみ		参加してみたい	学校やチーム、 仲間で参加したい	参加したいとは思わない	どちらともいえない	
家族内に要介護者がいる方	30歳未満	男性	8	2	3	0
		女性	39	37	32	26
		男女合計	47	39	35	26
	全年齢	男性	91	44	74	51
		女性	173	103	174	97
		男女合計	264	147	248	148
家族内に要介護者がいない方	30歳未満	男性	12	16	21	43
		女性	51	40	94	123
		男女合計	63	56	115	166
	全年齢	男性	101	59	231	192
		女性	134	138	316	282
		男女合計	235	197	547	474
全員	30歳未満	男性	20	18	24	43
		女性	90	77	126	149
		男女合計	110	95	150	192
	全年齢	男性	192	103	305	243
		女性	307	241	490	379
		男女合計	499	344	795	622

動画・番組視聴による
介護・福祉のワークショップへの参加意識
(介護・福祉の仕事への従事者以外の方)

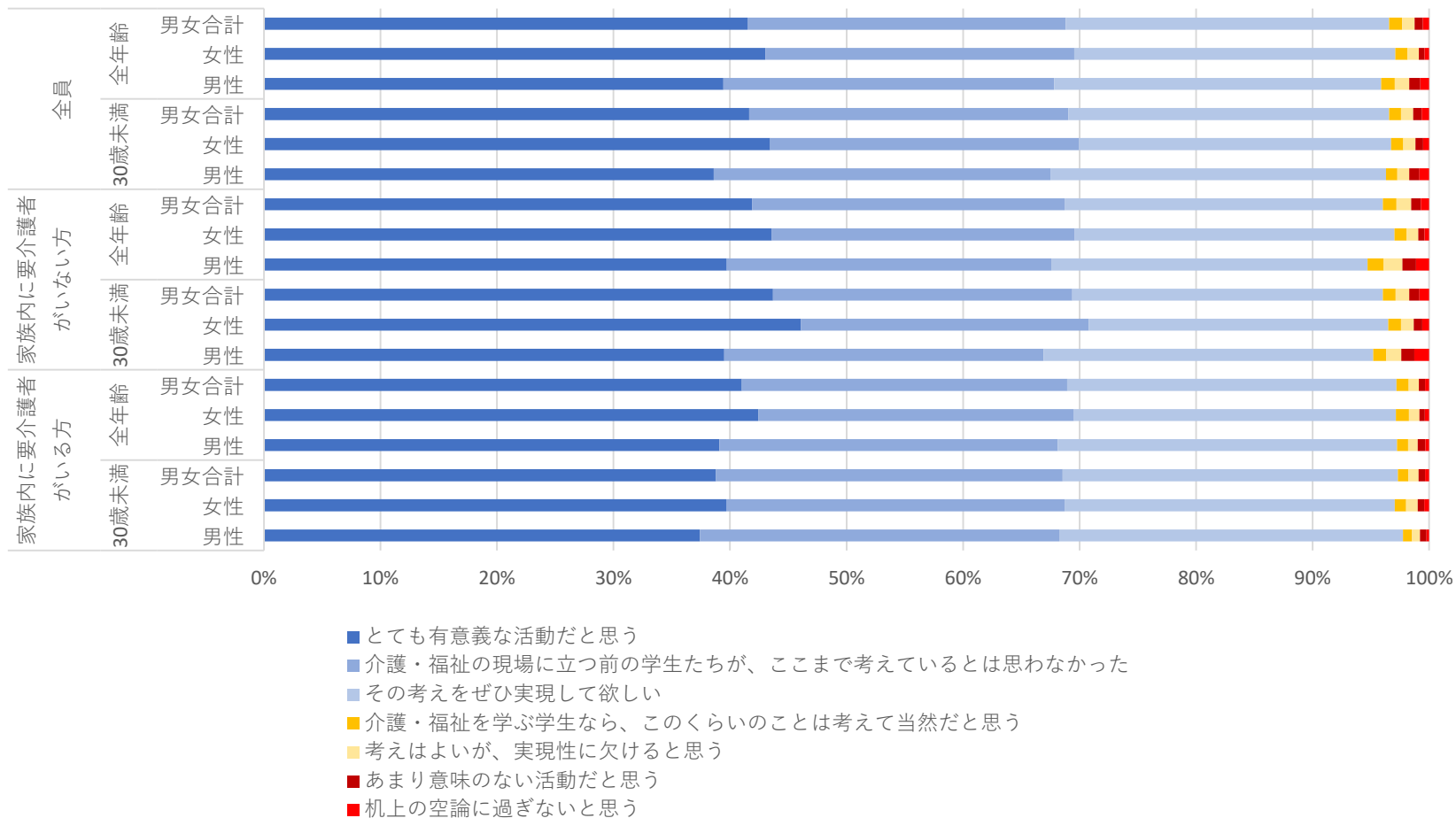


約50%以上の方から、今回の様な介護・福祉のワークショップへの参加希望の回答を獲得。
中でもご家族に介護が必要な方がいる方の参加意欲が特に高い傾向がみられた。

動画・番組視聴による介護・福祉のワークショップへの参加意識／回答者数

【ワークショップ参加意識】 介護・福祉の仕事への従事者以外			参加してみたい	誰かと一緒なら参加 してみたい	どちらともいえない	参加したくない
家族内に要介 護者がいる方	30歳未満	男性	16	16	6	13
		女性	66	68	26	37
		男女合計	82	84	32	50
	全年齢	男性	125	83	50	95
		女性	226	215	84	209
		男女合計	351	298	134	304
家族内に要介 護者がいない 方	30歳未満	男性	25	45	56	41
		女性	129	117	103	123
		男女合計	154	162	159	164
	全年齢	男性	131	146	205	281
		女性	272	300	250	383
		男女合計	403	446	455	664
全員	30歳未満	男性	41	61	62	54
		女性	195	185	129	160
		男女合計	236	246	191	214
	全年齢	男性	256	229	255	376
		女性	498	515	334	592
		男女合計	754	744	589	968

動画・番組で視聴した 「かえる委員会」の学生の取り組み・アイデアに対する感想



「かえる委員会」を通じた学生の取り組みやアイデアについては
高い評価の感想をお持ちの方が95%以上という結果となった。

「かえる委員会」の学生の取り組み・アイデアに対する感想 / 回答者数

【動画視聴後の感想】			とても有意義な活動だと思う	介護・福祉の現場に立つ前の学生たちが、ここまで考えているとは思わなかった	その考えをぜひ実現して欲しい	介護・福祉を学ぶ学生なら、このくらいのことは考えて当然だと思う	考えはよいが、実現性に欠けると思う	あまり意味のない活動だと思う	机上の空論に過ぎないと思う
家族内に要介護者がいる方	30歳未満	男性	331	273	261	7	6	5	2
		女性	564	413	403	14	14	8	6
		男女合計	895	686	664	21	20	13	8
	全年齢	男性	1507	1120	1123	36	32	25	13
		女性	2246	1434	1463	59	48	24	20
		男女合計	3753	2554	2586	95	80	49	33
家族内に要介護者がいない方	30歳未満	男性	461	320	330	13	15	13	15
		女性	934	500	521	22	22	15	12
		男女合計	1395	820	851	35	37	28	27
	全年齢	男性	1844	1293	1261	64	74	54	53
		女性	2629	2629	2629	61	2629	2629	2629
		男女合計	4473	3922	3890	125	21	18	17
全員	30歳未満	男性	792	593	591	20	21	18	17
		女性	1498	913	924	36	36	23	18
		男女合計	2290	1506	1515	56	57	41	35
	全年齢	男性	3351	2413	2384	100	106	79	66
		女性	4875	3003	3119	120	109	57	44
		男女合計	8226	5416	5503	220	215	136	110

動画・番組を視聴された方の「かえる委員会」の取り組みに対するコメント

男性

30歳未満

性別	年齢	コメント
男性	10代	より介護に関して深く考えるようになった。自分の立場として考えようと思った。
男性	10代	介護や福祉はただただご飯を食べさせたりお風呂に入れたりするだけのことだと思っていたが、楽しませたりすることも仕事の一部だと知って少し印象が変わった。
男性	10代	自分と同じ学生がここまで考えていることに驚きました。
男性	10代	前はそんなに好きじゃなかったけど番組を見て凄い興味のある仕事だと思った。
男性	10代	まさか学生が行動に起こしているとは思ってなかった
男性	20代	動画を見るまで直接的な介護のイメージが強かったですが、ファッションなど様々な方面での介護?福祉のあり方があるのだと気づいたのは目から鱗でした。
男性	20代	高校に福祉化があるとは知らなかった。若い人の発信があるのはいいと思う。
男性	20代	福祉の専門学校を卒業し、現役介護福祉士29歳です。 正直この業界しか仕事したことなく、色々辛いことがあったりと大変な事もあります。 テレビを通して、県外の人も頑張っているお年寄りのまだまだ出来るを最大限に引き出しているのを見ると、自分はまだまだなんだと思いました。
男性	20代	職業としての価値は人によって違うので、映像を見た後でも一概に結論づけることは難しかったが、自分よりも年下の学生の方が真剣にプレゼンをしてる姿を見て介護や福祉の仕事について詳しく調べてみようと考えた。
男性	20代	ここまで変えようと動いている高校生がいるのを知ってとても驚いた。

動画・番組を視聴された方の「かえる委員会」の取り組みに対するコメント

男性

30歳以上

性別	年齢	コメント
男性	30代	<p>介護・福祉に対するネガティブなイメージの蔓延、そしてそれらのイメージを払拭する為の対策や広報・アイデアを、高校生がここまでしっかり考えている事が素直に凄いと思う。</p> <p>動画内にもあったように、介護経験者と経験の無い方が各々抱く「難しい」「大変」というイメージに大きな違いがあるというのには非常に共感できた。介護にしっかりと向き合うからこそその技術や向き合い方について難しいと考える経験者に対し、多くの未経験者は漠然としたイメージでネガティブに考えている傾向があるというのは間違いないと思う。</p> <p>そういう意味での広報活動というのは非常に有意義だと感じる。</p> <p>親の介護という、いつか絶対に来る責任。ずっと元気でいて欲しいと思うがあまり、介護というものにあまり向き合って来なかったが、若年層が既にここまで考えている現状を、動画を通して学べた。今からでも少しずつ勉強していこうと思う。</p>
男性	30代	今の学生達が抱く介護福祉へのイメージがわかりました。30代の私達の世代では介護福祉に就くものが多いのですが、よくある辛いイメージをする者は少ないです。しかし、利用者や委託者からの負担によるものが辛いという声が多いです。1日体験やインタビューでは引き出せない内情があるのが事実だと感じています。監査や外部取締のような何かしらの機能がしっかり機能しない限りは「外から見たイメージ」で議論することが続くだけだと感じました。
男性	30代	動画を見て、自分も介護の仕事をしてみたいくなりました。
男性	40代	私が見た「第2回」の動画は、ほとんど、介護福祉士のような存在のかたが登場しなかった、というのが印象的。すなわち、必ずその人材は将来不足する中で、介護福祉士の人たちの手によらずに介護がまかりとおっていく社会を目指せるんじゃないか、という希望を持たた。
男性	40代	初めてこういう動画を見たので、知らないことばかりで勉強になった。
男性	40代	小学生や若い子どもたち（介護に携わる前の子ども）に介護の魅力ややりがい等を伝えていくことは大事なことだと思います。
男性	40代	現場に立つ前の学生がこんなにも福祉に対して考えているとは本当にビックリしました。正直私よりも真剣に考えていると思いました。
男性	50代	真剣に学んでいる学生を見ると、未来は捨てたものではないと感じた。
男性	50代	小学生向けに意識を持ってもらうのは有効的だと思った。
男性	60代以上	学生の意識の高さに驚きました。

動画・番組を視聴された方の「かえる委員会」の取り組みに対するコメント

女性

30歳未満

性別	年齢	コメント
女性	10代	今まで介護はストレスが溜まりそうなイメージだったが、暖かくて、様々な経験ができ、感受性が豊かになるというイメージに変わり、自分が成長出来そうな場だと思った。普段孤独に感じている人も介護、福祉の仕事をすれば心が満たされて、幸せになれそう。
女性	20代	学生が一生懸命話しているところを見て、介護の仕事に就く人が増えれば良いと思った。
女性	20代	学生の皆さんがしっかりと学校で学び、今後仕事として取り組んでいくために毎日励んでいると思うと、とても素晴らしいことだと思いました。また、自分たちが今後働いていくであろう、介護・福祉の仕事についてのイメージアップのために今から取り組んでいることも素敵だと思いました。
女性	20代	キャラクターの制作や、ポスターや漫画は興味を持つきっかけづくりとして良いと思う。
女性	20代	介護・福祉の仕事は従事者をただ従事者を増やすだけでは誰にでも出来る仕事、という印象を与える一方では無いかと思いました。専門職であると世間にも認めてもらうための専門性もより必要で、専門性を高めるためにはキャリアアップや事例検討会などの現場で働きながら勉強する機会も必要では無いかと思いました。福祉のニーズはどこにでも転がっていますが、それを拾い上げて実現するために動く人は素晴らしいと思いました。
女性	20代	ニュースにより小さな子どもの頃より、介護、福祉のマイナスなイメージが根付いてしまっていることを知った。ここの改善によってイメージがどう変わるのか興味をもった。
女性	20代	学生がこうやって介護に興味をもって活動していることで高齢者を社会全体で支えていこうという考えが生まれるといいとおもった
女性	20代	介護、福祉の知識や経験は、持ってて損になることはないし、年齢を重ねれば、ほとんどの人が、親や兄弟、叔父さん叔母さんなど、身近な人の介護に関わると思うので、中学生くらいからは、学校で基本的な知識を教えるくらいになった方がよいと思います。そうすれば、先程の動画で見た、介護や福祉のことを考える若い世代の人も増えると思います。
女性	20代	今高齢化している世の中で、こんなにも学生が介護、福祉について考えていて、未来が明るく見えました。
女性	20代	動画を見て確かに地域との境界線があったのかもしれないと感じた。境界線を壊す取り組みがなされると知り、どんどん進めて地域との一体化が早く叶ってほしいと思った。

動画・番組を視聴された方の「かえる委員会」の取り組みに対するコメント

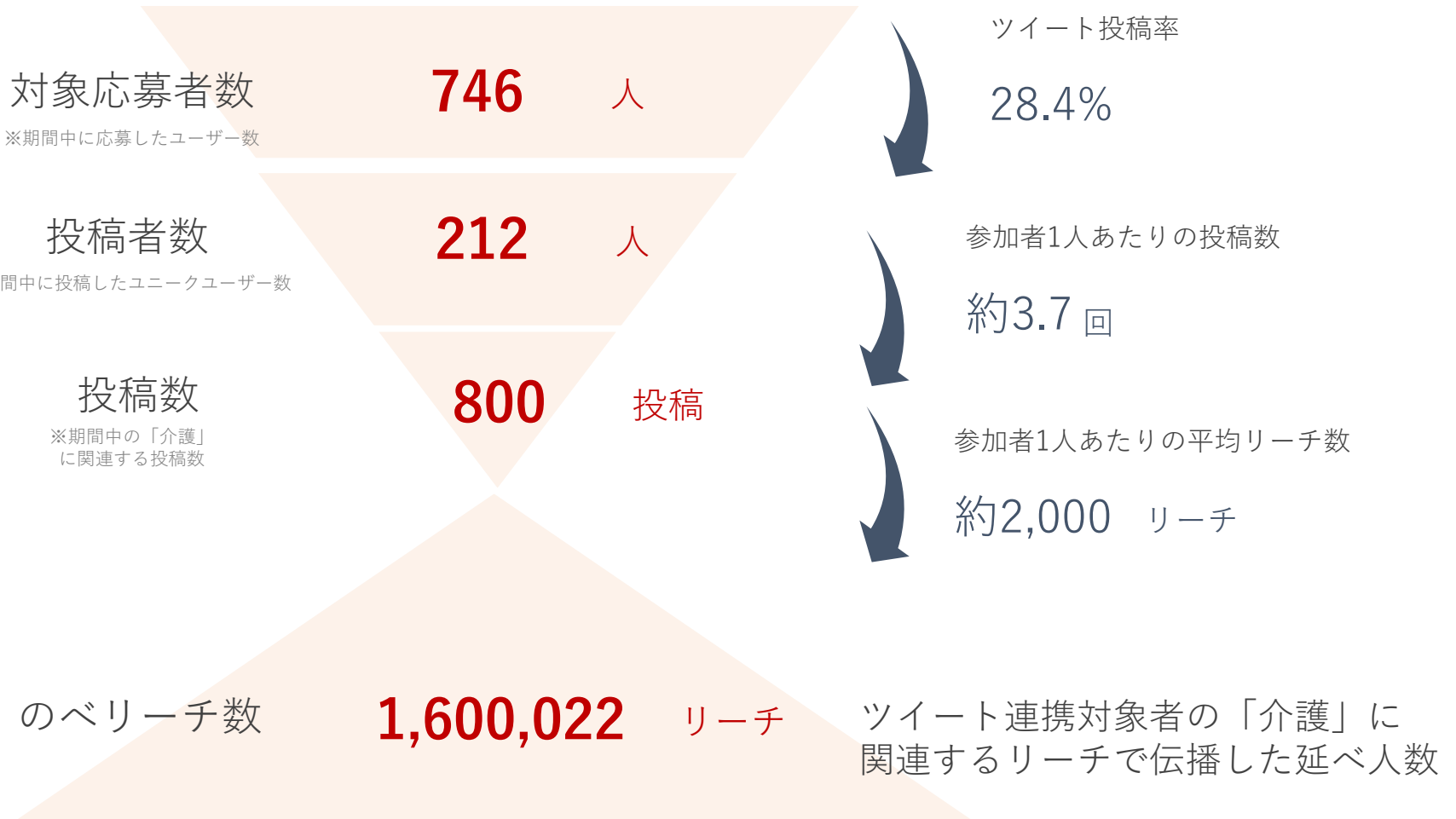
女性

30歳以上

性別	年齢	コメント
女性	30代	私の見た動画では介護の現場の日常的な苦労等はわからなかったが、外国人が活躍していることがわかった。大変な仕事というイメージしかないので、国が語学のサポートや給料面で待遇をよくするべきだと思う。
女性	30代	仕事を知るいいきっかけになると思います。学生さん達が良い意識で学んでいて、これからの福祉が変わっていったら良いなと思います。
女性	30代	若い方たちがこうやって真剣に介護、福祉について考えているのだから、国はもっと介護福祉士の待遇を良くして求人が集まりやすい環境にするべきだと思います。
女性	30代	現状維持ではなく、VRという最新技術を使うことで可能にしていこうとする取り組みは素晴らしいと思った
女性	30代	学生が福祉のイメージを向上させるために頑張っているのを知って、若い人の意識が高く今後の福祉業界が良くなっていきそうだと思います。
女性	40代	どちらがスタッフかわからないくらい、普通に支え合う・働き合う関係性が素晴らしいと思った。
女性	40代	介護や福祉は大変、しんどいなどのマイナスのイメージが多いが、可愛いキャラクターなどを用いて、暖かい、優しい、プラスのイメージを広めていく活動がもっとさかんになれば良いなと感じました。
女性	40代	新しいイメージ作りに取り組む学生の活動は素晴らしいと思う。
女性	50代	靴のデザインが市販の靴のようにファッションブルに変化している事に驚きました。意識としては動画の中でも最後に言われている方がいましたが、介護の仕事というジャンルの中には、直接障害をお持ちの方や高齢者の方のお身体を直接ケアする仕事ばかりとは限らないのだ、という事も知れたのが良かったと思います。 ただ、現実には間接的にも関わることが出来る仕事自体が少ないなと思います。例えば、私は線維筋痛症の為どちらかと言えば自分自身が介護をされる側に近い体になっています。自分で通勤などをする事は難しいけれどリモートワークなら出来る。でも、ではリモートワークがどの程度あるのかと言えば、今コロナ禍で昔よりは増えてきているとはいえ、まだまだ少ないです。例えば行政のほうで事務ワークを私のような感じで通勤は難しいけれど在宅でなら働けるのになという人間に斡旋してくれたいのになと思いました。
女性	60代以上	若い、学生たちのしっかりとした考えてることに感服しました。未来は心配ない様に思いました。

本施策で呼びかけた
Twitter投稿について

TGCイベントで実施したアンケートで呼びかけた Twitter活用によるツイート数およびリーチ数について



SNSによる情報伝播効果は高いといえます。施策の取り組みを早められれば展開期間を長く取ることができるため、さらに高い効果が得られると思います。

拡散されたツイート例

アンケート回答者の自発的な発信により本施策やアンケートの周知拡大を得ることができました。

 (塩田) @sayaminato1119

あまり向き合うことがなかったのでアンケートに答えさせていただきます！！

介護・福祉に関するアンケートに答えて最大5,000円のデジタルギフトが当たる！

アンケートで最大5,000円分のデジタルギフトが100名様に当たる！

「4人に1人以上が高齢者」という時代に介護・福祉の「いま」を学び、「これから」を **あかるく・前向きに・自分ごととして考えます！**

にっぽんの要

厚生労働省 株式会社サンケイビルテクノ

介護・福祉に関するアンケートに答えて最大5,000円のデジタルギフトが当た...
アンケート後、こちらの画像をシェアすると当選確率が2倍に！
🔗 ac-form.ambassadors.jp

 わたなべみなみ @mnm_krt_27

介護福祉のアンケートに答えると5000円分のデジタルギフトが当たるかも🥳🥳
私も参加しちゃった！

↓このURLから10秒で答えられます👉
ac-form.ambassadors.jp/form/kaigo/huk...
#にっぽんの要 #pr


アンケートで最大5,000円分のデジタルギフトが100名様に当たる！

「4人に1人以上が高齢者」という時代に介護・福祉の「いま」を学び、「これから」を **あかるく・前向きに・自分ごととして考えます！**

にっぽんの要

厚生労働省 株式会社サンケイビルテクノ

介護・福祉に関するアンケートに答えて最大5,000円のデジタルギフトが当た...
アンケート後、こちらの画像をシェアすると当選確率が2倍に！
🔗 ac-form.ambassadors.jp

 月奈なつき @tsukina_nazuki

介護・福祉に関するアンケートに答えて最大5,000円のデジタルギフトが当たります！
これからの将来について今から考え、できることを一つずつ🌟
2分ほどで終わるのでぜひやってみてください！🌻

↓ここから！！


sankeikaigofukushi.com

#日本の要 #pr

1,000円分のデジタルギフトが当たる！

にっぽんの要 わかる・かわる 介護・福祉とテクノロジー
にっぽんの要 わかる・かわる 介護・福祉とテクノロジーのしごと魅力発信等事業～
🔗 sankeikaigofukushi.com

午後3:34 · 2020年9月7日 · Twitter for iPhone

 あおい @aoi_prefer_t

お時間のある方、ぜひ回答してみてください🥳

介護・福祉に関するアンケートに答えて最大5,000円のデジタルギフトが当たる！

介護・福祉に関するアンケートに答えて最大5,000円のデジ...
アンケート後、こちらの画像をシェアすると当選確率が2倍に！
🔗 ac-form.ambassadors.jp

午後2:18 · 2021年2月7日 · Twitter for Android

1件のリツイート 4件のいいね

 べゑ太 @v_e_d_a

にっぽんの要 わかる・かわる 介護・福祉とテクノロジー youtu.be/KOiHxxWoXHU @YouTubeより

にっぽんの要 わかる・かわる 介護・福祉とテクノロジー
<主催> 株式会社サンケイビルテクノ若者たちが介護や福祉の現場を体験し成長する姿を追いかけ、俳優・要潤さんら...
🔗 youtube.com

午後1:18 · 2020年9月3日 · Twitter for iPhone

拡散されたツイート例

アンケート回答者による介護・福祉に関する自発的な発信の一例です。
本施策やイベントなどの紹介につながる発信も見受けられました。

かわもも
@kwmm1173

介護士としての自分を極めたい。それを表現に変えて伝えたい。認知症のエキスパートになりたい。後進を育てたい。相談援助も学びたい。認められたい。生きたい。

午前0:27 · 2020年10月8日 · Twitter for iPhone

百億ちゃん
@siroku_sora

#につぼんの要
#ティモンディ

介護大変だけどすごく大事なことから大変でも誰かがやらないと行けないことだからねえ

午後2:04 · 2021年2月7日 · Twitter for iPhone

ヤンマー
@YIUYAMA

超福祉展 オンラインだけれど盛りだくさん
ヒューマンライブラリーもやってる

午後6:33 · 2020年9月2日 · Twitter Web App

ayami_fan
@ayami_fan0204

#自分が努力していること

↓

介護福祉士の資格を取るために、勉強していき、勉強していく中で話し方等に気をつけて、穏やかに話して
いってます！

サイ👉ボランティア
@volunteersai

たった4日のボランティア終了。
福祉に関わっている人ですごいなて改めて実感出来ました。とても楽しかったです。また、関わることが出来たらいいな。最終日が1番喋った

#超福祉展
#ボランティア

午後11:05 · 2020年9月8日 · Twitter for iPhone

拡散されたツイート例

介護大変けどすごく大事なことから、大変でも誰かがやらないと行けないことだからねえ
介護福祉士の資格を取るために、勉強していき、勉強していく中で話し方等に気をつけて、穏やかに話して行ってます！
『ストレスフリー超大全』と『感情リセット術』を読みました！特に参考になったのが『感情リセット術』の中の「返報性の法則」の話で「介護をする人が心から明るい気持ちで介護をすれば、介護を受ける側も明るい気持ちで
福祉関係ですね。大学は別の道に進みましたが、あの時選択してたらなぁと思う事もあります。
私も母の介護で、「助けて！」という気持ちをグッとこらえて、なるべく母には、自分で自分のことをやってもらっています。そうすると、できることが増えてきています！これも大切な優しさです。
私は介護福祉士として働く傍ら、アーティスト活動をしています！ 私の歌を通しヘルプマークを広める活動をしました*? そんな時このマークの存在を知りました！ 私にも何か出来ることがあれば微力ながら出来たらなと思っております
福祉の今を音楽を通して伝えられる人になりたいと思ってます！ 頑張ります*?
母の介護は、義務でも役目でもなく「愛情」です！私は、生まれてから母にももの凄く「愛情」を受けました。 その受けた「愛情」をこれから返してきます。 「愛情」溢れる育児は「愛情」溢れる介護で返ってきます。育児と介護は繋がっています。
国や自治体ではなく、個人のお金で持続可能な社会福祉のシステムが確立できるとしたら それはすごいことだよな。 国よりもきめ細かく、早く動くことも可能になる可能性もあるかなあ。
介護での声かけで効果的なのは腹式呼吸 響く声で相手が聞きとりやすくなります。 口から息を吐きながらお腹を凹ます 鼻から息を吸いながらお腹を膨らませる を繰り返しながら口から吐く時に「ハァ〜」と声を出す
素敵でもなんでもないですが、介護の仕事はまだ始めようと思ってます おじいちゃんおばあちゃんと接するのが自分には向いてるのかなーと思うこの頃です
音のない世界の体験で、聴覚障害者と一緒にミュートワークしてました。 オンラインの機会が増えたこともあり、ジェスチャーで大きめにリアクションすることが結構習慣化してきて、 自分の中で意識が結構変わってきてるなと思ったんですよね。
介護で大切な10のこと 1 余裕を持つ 2 いい距離感を持つ 3 我慢しすぎない 4 初心を忘れない 5 期待しすぎない 6 一人でやらない 7 考えすぎない 8 休めるときには休む 9 無理をしない 10 思いやりを忘れない
フォロワーの皆さんの中にケアマネや介護福祉士として働いてる方いらっしゃいますか？ 今お困りのことや課題などをお聞きたいです。ITや機械などを導入した方がよいと思う業務や作業はありますか？僕に何かお手伝いできることありますか？
勉強不足な分野でしたが、理解の深まりとともに、介護業界のDXには大きな可能性があるなと感じました。 サービスを通してソーシャルワーカーやケアマネジャーの皆様のお役に立つことで、介護を受ける皆さま一人ひとりのQOL向上にしっかり向き合っていきたい…

拡散されたツイート例

やっぱり介護が好き
たった4日のボランティア終了。 福祉に関わっている人ですごいなて改めて実感出来ました。とても楽しかったです。また、関わるのが出来たらいいな。最終日が1番喋った
演技では、相手の感情を感じることが大切ですが 私は、母の認知症介護から「言葉かけ」より感情に合わせる事が重要だと感じています。 母が笑えば、一緒に笑う。「何がおかしい」とか「何で笑っている」とか理由はいりません。
介護において利用者が介護のサービスを受けられたり、ソーシャルワーカーを通して、家族、病院、施設の連携が深まっていて、 利用者の思いを大事に、関係する人等がいろいろ話しが広がっていき、皆で前を向いていけたらいいなと思います！
介護士としての自分を極めたい。それを表現に変えて伝えたい。認知症のエキスパートになりたい。 後進を育てたい。相談援助も学びたい。認められたい。認められたい。生きたい。
簡単で爽やかな非言語的挨拶は、「笑顔で手を振る」 マスクをしてても「笑顔で手を振る」 朝でも昼でも夜でも「笑顔で手を振る」
今面接無事に終了した～ 結果は、、、、、、受かった～!! めっちゃ嬉しい！ グループホームやけど、前の所よりかは、忙しくなさそうだから、良かった また、介護に出戻りした笑
賛否両論あるし、僕も決して詳しくはないけど、ユマニチュードには少なからず影響を受けたと思う。 就職が決まって一番最初に図書館で借りた介護の本が「ユマニチュード入門」だったのがたぶん一番の要因。 ……理由？なんか「入門」って書いてあったからさ！
私は、医者でも看護師でも介護士でもないのに、母親の介護は、もっぱら愛情でやってますね。 介助は、ほとんど独学で、しんどい時は、気持ちで乗り切り母親の笑顔で救われています。
車椅子ユーザーの弟を乗せて移動(ドライブや旅行)するための福祉車両購入資金にします
手伝うのも介護。 放ったらかし介護。安心安全が保たれていれば何でもいいんですよ。介護にマニュアルはありません！
大きく手を広げて深呼吸～ 今日笑顔で優しい介護！
超福祉展 オンラインだけれど盛りだくさん ヒューマンライブラリーもやってる
認知症介護で安心感を与えるコミュニケーションのとり方。 一緒に歩く時背中や腰に手を添える。 静かにゆっくりとジェスチャーを使って話す。 相手の話すスピードに合わせて相槌を打つ。 肯定的な言葉を使う。 相手の目線に合わせる

令和3年度を見据えての考察

「にっぽんの要」プロジェクト 令和3年度強化ポイント

令和元年度、令和2年度の実績の蓄積を効果的に活かすことでより効果が高い体験型イベントの実施を目指します。

令和元年度からの取り組みで
知り得たコト・獲得できたモノ
(自立・自走の礎となる資産)

介護・福祉を学ぶ学校・
学生のモチベーションとなり得ること

一般の方の介護・福祉のイメージを
変えるトリガーの所在

介護・福祉のイメージをかえる委員会の
ワークショップのメソッド

実際に介護・福祉を学ぶ
学校・先生方との関係性の構築

学生たちの提案に興味を持つ
企業・起業家などとのコンタクト

体験型・参加型イベント実施数の増加
全国での展開

1

体験型・参加型イベント
参加人数の増加

2

体験型・参加型イベント
の標準化
(自立・自走に向けた取り組み)

3

訴求対象の拡大
(小学生・地域コミュニティーなど)

4

End Of Form